



取扱説明書

DSP/MD/CD ヘッドユニット

**MDA-W925JS/
MDA-W925JB/
MDA-W925JW**

MP3 **MLX** **MDLP** **4i-NET** **Mini Disc**



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL : 0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL : 048-662-6636
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9 : 30 ~ 17 : 30
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX : 048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Korea (Y-628)

68-04123Z82-B



安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口には、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

取り扱い上のご注意（MD）

ミニディスク（MD）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
シャッターを開けない／内部にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する。

市販のレンズクリーナーを使わない

市販のレンズクリーナーを使わないでください。故障の原因になる場合があります。

取り扱い上のご注意（CD）

本機で使えるディスクについて

ディスクレーベル面に「CDロゴ」下記マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。



CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用の CD-R (CD-Recordable) / CD-RW (CD-ReWritable)、MP3 / WMA ファイル形式の CD-R / CD-RW の再生が可能です。

- ・ 次のようなディスクは、再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データ書き込みに失敗し再録音した場合など。
- ・ MP3/WMA ファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは 64 ページを参照してください。
- ・ 音楽ファイルの他に ROM データが混在するディスクを再生する場合、データ領域は無音状態になります。

コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼らない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリを使わない。
特に CD-R / CD-RW は以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。

高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

コンパクトディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

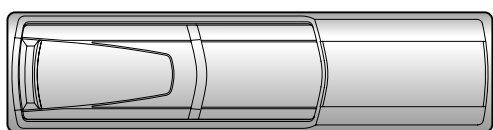
CD-R/CD-RW をご使用のお客様へ

- ・ CD-R / CD-RW が再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- ・ 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試しください。

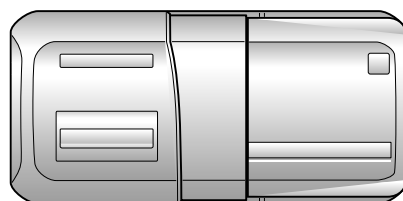
レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用するとレンズの破損や故障の原因となります。

CD も、MD も、お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



CD CHANGER CHA-S634



MD CHANGER MHA-S670

車室内にもセットできる超小型サイズの CD6 枚チェンジャーが、
CD-R/CD-RW の再生、さらに MP3 再生にも対応して新登場。
人気の MD ソースが思う存分楽しめる MD チェンジャーも、大ブレイク。
車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。
そのヘッドユニットをセンターに、
車や聴きたいソースにあわせて高音質チェンジャーを拡張装備すれば、
もっと“いい音”に抱かれる快適ドライブが実現。
アルパインのチェンジャーにプラスして、
あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！



お知らせ

- 別売の KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー 2 台、テレビやビデオなど (外部入力) 2 台、計 4 台の製品を接続することができます。

本書の見方

本機にはオーディオ調整モード、ファンクションモード、サーチモードなど、設定されている時間までに何も操作をしないと操作中のモードが解除されてしまう機能があります。本書では、このような「設定時間がある操作」と「通常操作」をタイトルや手順番号のデザインで区別し、わかりやすく説明しています。

■「通常操作」の場合

「設定時間がない操作」の手順番号

セッアップ (SETUP) する

本機には、さまざまなセッアップ (SETUP) 機能が用意されています。自分好みの設定に変更してお使いください。

1 を押す

MD、CD、チェンジャー、iPod モードのときは、2 回押します。
SETUP モードになります。



2 を繰り返し押す

変更する設定項目を表示させます。



■「設定時間がある操作」の場合

次手順の操作を開始するまでの時間 (秒数) を示しています。
この場合は、15 秒以内に次手順の操作を開始してください。

「設定時間がある操作」の手順番号
手順番号を反転して示しています。

15 秒以内に操作

記憶したタイムコレクションを選ぶ

設定したタイムコレクション (時間補正值) を選択できます。

1 を押す

サウンド調整モードになります。

2 を繰り返し押す

<T-CORR> 表示を点滅させます。



3 を押す

「T-CORR」モードになり、<SELECT> 表示が点滅します。

目次



安全にお使いいただくために

警告／注意	2
本書の見方	5
目次	6
各部の名称	8



基本操作

リセットする	10
電源のON/OFF	10
電源を入れる	10
電源を切る	10
音量／バランス／フェダー／ディフィートの調整	11
サブウーハー調整(SUBW.)	11
バランス調整(BALANCE)	11
フェダー調整(FADER)	11
ディフィート設定(DEFEAT)	11
音量調整(VOLUME)	11
サブウーハーの位相を切りかえる(SUBW.)	12
時計を調整する	12

MD/CD

MD/CD(ディスク)を聴く	14
MD/CD(ディスク)を挿入する	14
MD/CDモードを呼び出す	14
音量を調整する	14
聴きたい曲を選ぶ	15
早送り／早戻しをする	15
一時停止する	15
MD/CD(ディスク)を取り出す	15
MDタイトル／CDテキストから曲を探す	15
いろいろな再生(SCAN、M.I.X.、REPEAT)	16
解除するには	17

MP3/WMA

MP3/WMAを聴く	18
ディスクを挿入する	18
CDモードを呼び出す	18
音量を調整する	18
聴きたいファイルを選ぶ	18
聴きたいフォルダを選ぶ	18
早送り／早戻しをする	19
一時停止する	19
ディスクを取り出す	19
フォルダ／ファイルサーチ	19
いろいろな再生(SCAN、M.I.X.、REPEAT)	20
解除するには	21

チェンジャー(オプション)

チェンジャーでMD/CDを聴く	22
チェンジャーモードを呼び出す	22
聴きたいディスクを選ぶ	22
音量を調整する	22
聴きたい曲を選ぶ	22
早送り／早戻しをする	23
一時停止する	23
聴きたいフォルダを選ぶ (MP3対応チェンジャーのみ)	23
CDトラックNo.から曲を探す	23
フォルダ／ファイルサーチ (MP3対応チェンジャーのみ)	24
いろいろな再生(SCAN、M.I.X.、REPEAT)	25
解除するには	25

ラジオ

ラジオを聴く	26
ラジオモードを呼び出す	26
バンドを切りかえる	26
音量を調整する	26
聴きたい放送局を選ぶ	26
手動で選ぶ(マニュアルモード)	26
自動で選ぶ(ローカルモード SEEK)	27
自動で選ぶ(ディスタンスモード DX SEEK)	27
記憶した放送局を選ぶ	27
放送局を記憶する	28
手動で記憶する(P-MEMO)	28
自動で記憶する(A-MEMO)	28
放送局タイトルから探す	29
道路交通情報を受信する	
TRF(トラフィックインフォメーション)	29

タイトル／テキスト

タイトル／テキスト／スクロールとは	30
タイトル／テキストを表示する	30
タイトルをつける	32
記憶したタイトルを消す	33

サウンド

MXモードの設定	34
HPF/LPFの設定	35
イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ	36
イコライザー特性の設定と記憶	37
タイムコレクションの設定と記憶	38
記憶したタイムコレクションを選ぶ	40
タイムコレクション(時間補正)について	41
Bass Focusの設定	42

SETUP(セットアップ)

セットアップ(SETUP)する	44
設定項目一覧	44
TUNER(FM)音質設定(TUNER)	45
ディスプレイの明るさ設定(DIMMER)	45
サブウーハー設定(SUBW.)	45
MP3/WMA再生データ設定	45
操作音設定(BEEP)	45
テキストスクロール設定(SCROLL)	45
外部割込みモード設定(INT MUTE)	46
外部割込み時のディフュース設定(INT AUDIO)	46
外部入力設定(AUX IN)	46
ディスプレイの濃淡調整(CONTRAST)	46
デモンストレーション機能(DEMO)	47

iPod®(オプション)

iPod®の曲を聴く	48
iPodモードを呼び出す	48
音量を調整する	48
聴きたい曲を選ぶ	48
早送り／早戻しをする	49
一時停止する	49
テキストを表示する	49
聴きたい曲を探す	50
Playlist(プレイリスト)から探す	50
アーティスト名から探す	51
アルバム名から探す	51
いろいろな再生(M.I.X.、REPEAT)	52
解除するには	53

TV(オプション)

TV(Ai-NET対応)を操作する	54
テレビモードを呼び出す	54
バンドを切りかえる	54
音量を調整する	54
放送局を選ぶ	54
手動で選ぶ(マニュアルモード)	54
自動で選ぶ(SEEK)	54
記憶した放送局を選ぶ	55
放送局を記憶する	55
手動で記憶する(P-MEMO)	55
自動で記憶する(A-MEMO)	55

その他

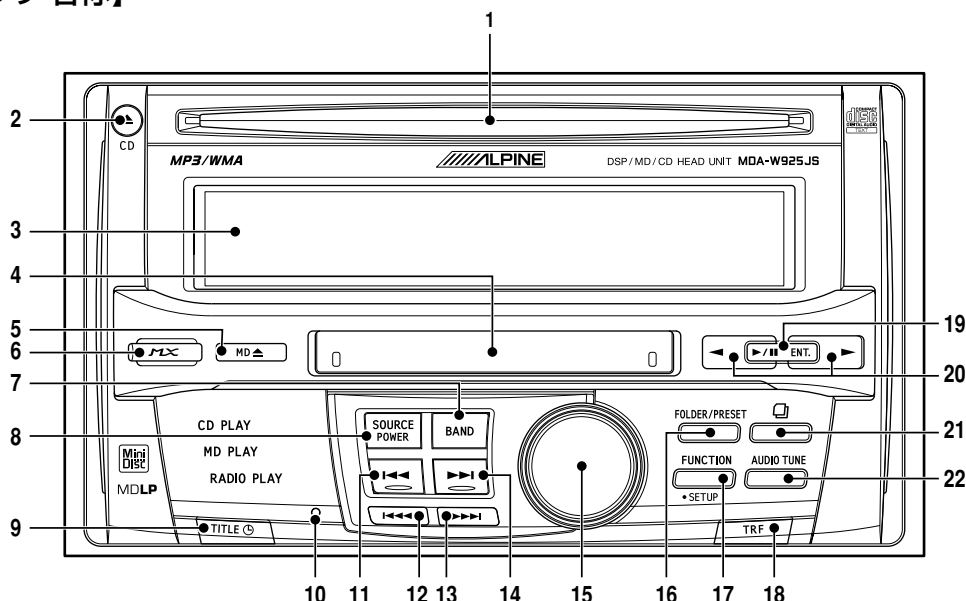
故障かな?と思ったら	60
規格	61
保証について	62
お問い合わせ窓口	63
MP3/WMAについて	64
索引	65



取り付けと接続

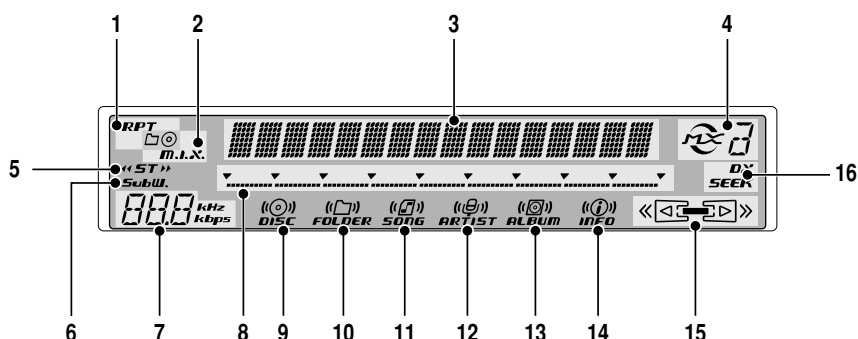
取り付けと接続	56
---------------	----

【スイッチ名称】



- 1 **CD 挿入口**
CD を挿入します。
- 2 **CD ▲ (CD イジェクト) スイッチ**
CD を取り出すときに押します。
- 3 **ディスプレイ**
- 4 **MD 挿入口**
MD を挿入します。
- 5 **MD ▲ (MD イジェクト) スイッチ**
MD を取り出すときに押します。
- 6 **MX スイッチ**
MX (Media Xpander) の ON/OFF を切りかえます。
- 7 **BAND スイッチ**
ラジオ : ラジオバンドを切りかえます。
ディスク : ディスク (CD/MD/CD チェンジャー) モードを切りかえます。
- 8 **SOURCE/POWER スイッチ**
電源を ON/OFF します。
ソースを切りかえます。
- 9 **TITLE ⊕ スイッチ**
時計表示/タイトル表示を切りかえます。
- 10 **RESET (リセット) スイッチ**
本機の状態をリセットするときに押します。
- 11 **◀◀ スイッチ**
ラジオ : 低い周波数に変更します。
ディスク : 再生している曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。
- 12 **◀◀◀ スイッチ**
ラジオ : 低い周波数に変更します。
ディスク : 再生している曲の頭に戻ります。
- 13 **▶▶▶ スイッチ**
ラジオ : 高い周波数に変更します。
ディスク : 次の曲に進みます。
- 14 **▶▶ スイッチ**
ラジオ : 高い周波数に変更します。
ディスク : 次の曲に進みます。押し続けると早送りします。
- 15 **ロータリーエンコーダー**
音量/バランス/フェダー/ディフューズを調整します。
- 16 **FOLDER/PRESET スイッチ**
ラジオ : 放送局を記憶するときのモードを切りかえます。
MP3 チェンジャー : フォルダ選択モードを呼び出します。
- 17 **FUNCTION/SETUP スイッチ**
ファンクションモード/セットアップモードを呼び出します。
- 18 **TRF スイッチ**
交通情報ラジオモードを呼び出します。
- 19 **▶/|| ENT. スイッチ**
ディスク : 再生/一時停止を切りかえます。
ファンクションモード/セットアップモードを確定します。
- 20 **◀/▶ スイッチ**
MP3/WMA : フォルダを選択します。
チェンジャー : ディスクを切りかえます。
ファンクションモード/セットアップモード時の項目を選択します。
- 21 **🔍 (SEARCH) スイッチ**
サーチモードを呼び出します。
- 22 **AUDIO TUNE スイッチ**
サウンド調整モードを呼び出します。

【ディスプレイ】



1 リピート再生表示

- RPT : 1 曲リピート再生
- RPT □ : フォルダリピート再生
- RPT ◎ : ディスクリピート再生 (チェンジャー時)

2 ミックス再生表示

- m.i.x.** : ディスク内の曲を順不同に再生 (CD 時)
- **m.i.x.** : フォルダミックス再生 (MP3/WMA 時)
- ◎ **m.i.x.** : ディスクミックス再生 (チェンジャー時)
ディスク内のファイルを順不同に再生 (MP3/WMA 時)

3 情報表示

各モード時の情報を表示します。

4 MX 表示

MX (Media Xpander) ON のときに表示します。
数字は MX レベルを表します。

5 ステレオ表示

FM ラジオでステレオ受信しているときに表示します。

6 サブウーハー表示

サブウーハーが ON のときに表示します。

7 サンプリングレート/ビットレート表示

MP3/WMA 時にサンプリングレートとビットレートを交互に表示します。

8 インジケータ表示

- ラジオ : 受信周波数の位置を矢印で表示します。
- ディスク : 再生中のトラック No. を矢印で表示し、総トラック数をバーで表示します。

9 DISC 表示

ディスクタイトルを表示しているときに表示します。

10 FOLDER 表示

フォルダタイトルを表示しているときに表示します。

11 SONG 表示

ソングタイトルを表示しているときに表示します。

12 ARTIST 表示

アーティストタイトルを表示しているときに表示します。

13 ALBUM 表示

アルバムタイトルを表示しているときに表示します。

14 INFO 表示

上記 9 ~ 13 のインジケータが表示していないときに表示します。

15 ◀/▶ スイッチ、▶/|| ENT. スイッチのアクション表示

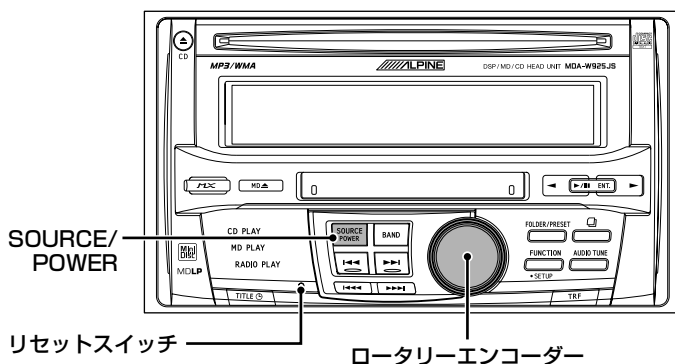
ファンクションモード/セットアップモード時に、
◀/▶ ボタンを操作したときの方向を矢印が点滅して表示します。

16 ラジオの周波数サーチモード表示

- 表示なし : マニュアルモード
- SEEK : ローカルモード
- DX SEEK : ディスタンスモード



基本操作



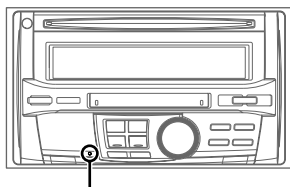
リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

■:Memo

- リセットは電源が切れている状態で行なってください。
- リセットすると、時計など記憶した内容が消去されます。再度、登録し直してください。
- セットアップ (SETUP) の設定 (サブウーハーの ON/OFF 設定は除く) およびサウンド調整のプリセットメモリーは消去されません。

「リセットスイッチ」をペン先などで押す

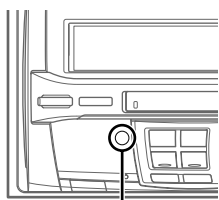


リセットスイッチ



お知らせ

- 本機はリモートコントロールユニットに対応しています。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
- ・ 別売リモコンで本機を操作する場合は、別売リモコンの送信部をリモコンセンサーに向けてお使いください。



リモコンセンサー部

電源の ON/OFF

電源を入れる

イグニッションキー (エンジンキー) を ACC または ON にしてから操作してください。



を押す

電源が入ります。

■:Memo

- 「CD▲」、「MD▲」、「TITLE ⑨」以外のどのスイッチを押しても電源が入ります。また、MD/CD を挿入しても自動的に電源が入ります。
- 電源を切る前のモードで立ち上がります。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきました。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

電源を切る



を 3 秒以上押す

電源が切れます。

■:Memo

- イグニッションキーを OFF にすると本機の電源も切れます。

5秒以内に操作

音量 / バランス / フェダー / ディフィートの調整

2 〇 を回す

好みのレベルに調整します。

サブウーハー調整 (SUBW.)

サブウーハー出力を調整します。
設定内容：0 ～ +15 (出荷時の設定：0)

■ Memo

- 「サブウーハー設定 (SUBW.)」(45 ページ) が「OFF」に設定されている場合は、調整できません。

バランス調整 (BALANCE)

左右のスピーカー音量を調整します。
設定内容：L15 ～ R15 (出荷時の設定：センター)

フェダー調整 (FADER)

前後のスピーカー音量を調整します。
設定内容：F15 ～ R15 (出荷時の設定：センター)

ディフィート設定 (DEFEAT)

ON に設定すると MX を OFF、EQ を初期値に戻します。
設定内容：ON/OFF (出荷時の設定：OFF)

音量調整 (VOLUME)

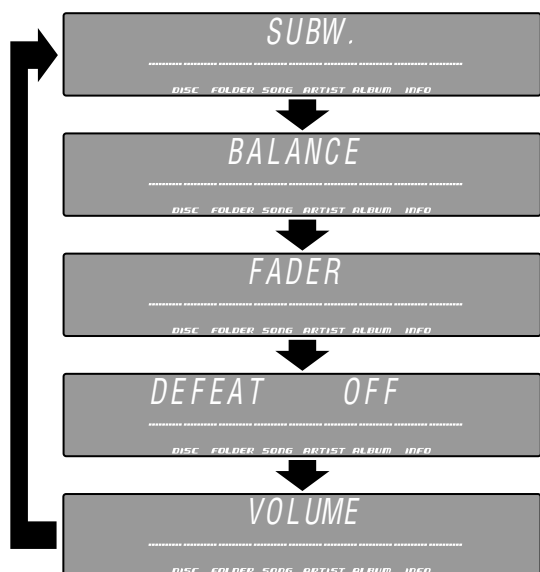
音量を調整できます。
設定内容：0 ～ 35 (出荷時の設定：12)

■ Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。
- VOLUME モードを選択しなくても調整できます。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。

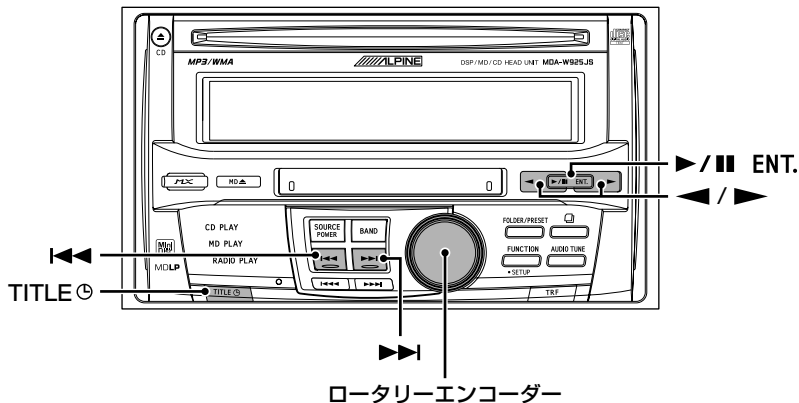
1 〇 を繰り返し押す

調整したいモードを選びます。





基本操作



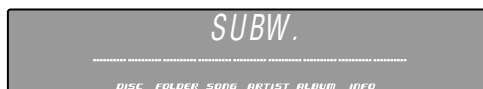
5秒以内に操作

サブウーハーの位相を切りかえる (SUBW.)

サブウーハー出力の位相を切りかえます。お好みの音が得られる方を選んでください。

1 を押す

<SUBW.> が表示されます。



2 を押す

位相が <NORMAL> に変わります。

を押す

位相が <REVERSE> に変わります。

Memo

- 「セットアップ (SETUP) する」の「サブウーハー (SUBW.) 設定」(45 ページ) が「OFF」に設定されている場合は、設定できません。

5秒以内に操作

時計を調整する

1 を押す

時計を表示します。



2 を 3 秒以上押す

<時> の表示が点滅します。



3 を繰り返し押す

「時」を調整します。

4 を押す

「時」が確定し、<分> の表示が点滅します。



5 を繰り返し押す

「分」を調整します。

■:Memo

- 時報に合わせたいときは、「▶/|| ENT.」を2秒以上押すと、「分」の表示が「00」になります。30分を超えているときは「時」の表示が繰り上がります。

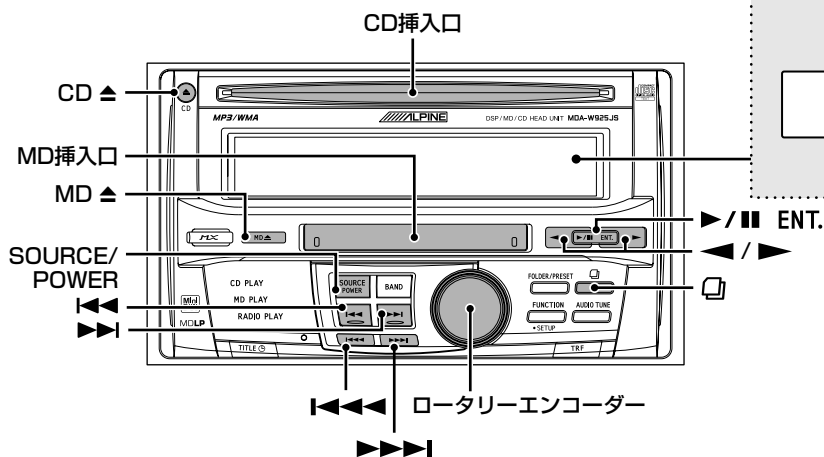
6 を押す

「分」が確定します。



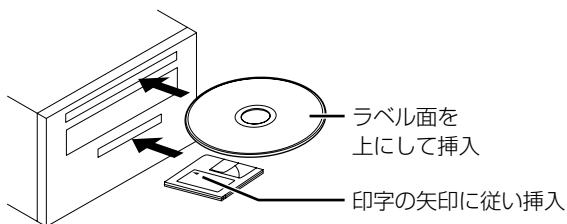
■:Memo

- どのモード（MD、CD、ラジオ、チェンジャーなど）のときでも調整できます。
- 時計は12時間表示です。
- 電源が切れていてもイグニッションキーがONであれば、「TITLE ⌚」を押すと時計を表示します。ただし調整はできません。



MD/CD (ディスク) を聴く

MD/CD (ディスク) を挿入する



MD/CD (ディスク) を挿入すると再生を開始します。

■:Memo

- シングルCD (8cm CD) は、そのまま使用できますので、アダプターは使用しないでください。
- Long Play (MDLP) モードで録音したMDを再生できます。
- 再生されるまで時間がかかる場合があります。
- CDオーディオデータ再生時のトラック表示は、ディスクに記憶されているトラック番号になります。



お知らせ

● MDLPとは...

従来のミニディスク (MD) を2倍モード (LP2モード) 4倍モード (LP4モード) で長時間の録音再生が楽しめます。MDLP対応デッキなどで録音されたディスクを挿入すると、複数のLPモードが混在する場合でも、自動的にLPモードを読み取り再生することができます。

MD/CD モードを呼び出す

ディスクが入っているときは...



を繰り返し押す

MD <MINI DISC> またはCD <COMPACT DISC> モードを選びます。

音量を調整する



を廻す

■:Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。

聴きたい曲を選ぶ



を押す

再生中の曲の頭に戻ります。続けて押すと前の曲の頭出しをします。

を押す

次の曲に進みます。

Memo

- 「」または「」を押しても、聴きたい曲を選ぶことができます。押し続けると連続で曲が切りかわります（クイックサーチ）。指を離すと通常再生に戻ります。

早送り／早戻しをする

を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

を押す

<PAUSE> を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

MD/CD（ディスク）を取り出す

または を押す。

Memo

- ディスクは必ず取り出してください。

// 10秒以内に操作

MD タイトル／CD テキストから曲を探す

MD タイトルや CD テキストから曲（トラック）を検索し再生することができます。

1 を押す

MD タイトルサーチまたは CD テキストサーチモードになり、現在のタイトルまたはテキストが点滅します。



2 を繰り返し押す

希望の曲を選びます。


Memo

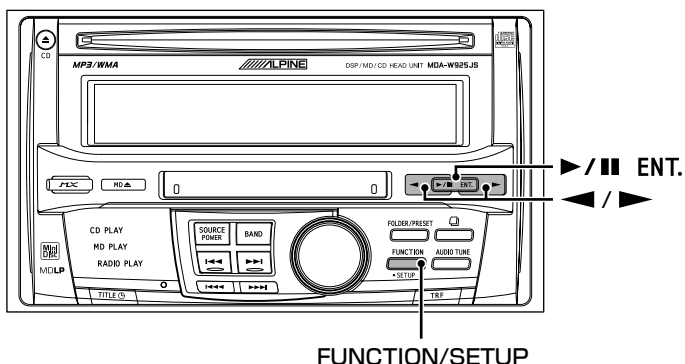
- タイトルまたはテキストがない場合は、トラック No. で検索できます。

3 を押す

選択した曲を再生します。

Memo

- M.I.X. 再生中にテキストサーチはできません。
- サーチモード中に「」を押すと、サーチモードは解除されます。



10秒以内に操作

いろいろな再生 (SCAN、M.I.X.、REPEAT)

- SCAN (スキャン) :
曲のイントロ部分だけを 10 秒間ずつ再生します。
- M.I.X. (ミックス) :
ディスク内の曲を順不同に再生します。
- REPEAT (リピート) :
曲を繰り返し再生します。

1 を押す

FUNCTION モードになります。



2 を繰り返し押す

<SCAN>、<M.I.X.>、<REPEAT> のいずれかの表示を点滅させます。



3 を押す

選択したモードになります。

4 を押す

- SCAN (スキャン)
<ON> 表示を点滅させます。



- M.I.X. (ミックス)
<ONE> 表示を点滅させます。



- REPEAT (リピート)
<ONE> 表示を点滅させます。



5 を押す

選択したモードで再生されます。

■ SCAN (スキャン) 再生中



■ M.I.X. (ミックス) 再生中



■ REPEAT (リピート) 再生中



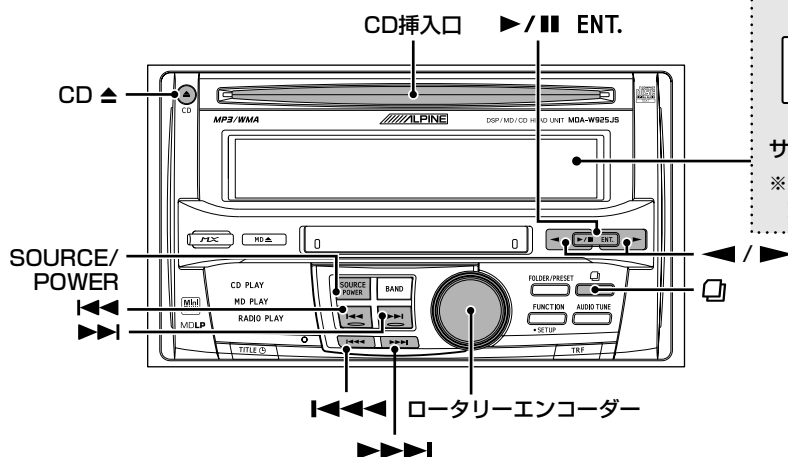
■:Memo

- SCAN、M.I.X.、REPEAT 再生は、同時にできません。

解除するには

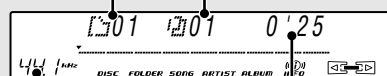
手順 1 ～ 5 の操作を行い、各モードを OFF にする

通常の再生に戻ります。



【ディスプレイ表示】

フォルダNo. ファイルNo.



サンプリングレート※ 演奏時間

※サンプリングレートとビットレートを交互に表示します。

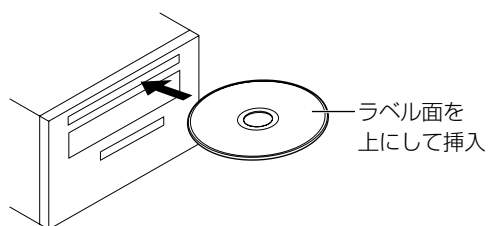
MP3/WMA を聴く

本機で再生できるMP3/WMAは、本機対応のフォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMAについて」(64ページ)を参照してください。

■Memo

- DRM (著作権保護機能 Digital Rights Management) システムのWMAファイルは再生できません。
- 本機はオーディオデータとMP3/WMAデータが混在するディスクでも再生が可能です。
- 作成したライティングソフト/MP3変換ソフトによっては再生できない場合があります。

ディスクを挿入する



ディスクを挿入すると再生を開始します。

■Memo

- 再生されるまで時間がかかる場合があります。

CDモードを呼び出す

ディスクが入っているときは...

SOURCE
POWER

を繰り返し押す

CD <COMPACT DISC> モードを選びます。

音量を調整する



を廻す

■Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。

聴きたいファイルを選ぶ



を押す

再生中のファイルの頭に戻ります。続けて押すと前のファイルの頭出しをします。



を押す

次のファイルに進みます。

■Memo

- 「◀◀◀」または「▶▶▶」を押しても、聴きたいファイルを選ぶことができます。押し続けると連続でファイルが切りかわります(クイックサーチ)。指を離すと通常再生に戻ります。

聴きたいフォルダを選ぶ



を押す

「◀」を押すと、前のフォルダに戻ります。

「▶」を押すと、次のフォルダに進みます。

選択したフォルダの1つ目のファイルが再生されます。

早送り／早戻しをする

を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

を押す

<PAUSE> を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

ディスクを取り出す

を押す

Memo

- ディスクは必ず取り出してください。

お知らせ

● MP3/WMA 再生時の表示について

フォルダNo.、ファイルNo.、サンプリングレート、ビットレートが次のように表示されます。

フォルダ No. ファイル No. 演奏時間



サンプリングレート



ビットレート*

* WMA の VBR (可変ビットレート) ファイルは、平均ビットレート表示になります。

Memo

- フォルダ No. の表示はルートフォルダを 1 とするため、ルートフォルダにファイルがない場合は、最初のフォルダ No. 表示は、2 以降のフォルダ No. が表示されます。

10秒以内に操作

フォルダ／ファイルサーチ

ディスク内のフォルダからファイルを検索し再生することができます。

1 を押す

フォルダサーチモードになり、フォルダ名が点滅します。

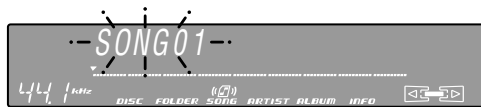


2 を繰り返し押す

希望のフォルダを選びます。

3 を押す

ファイルサーチモードになり、ファイル名が点滅します。




4 を繰り返し押す

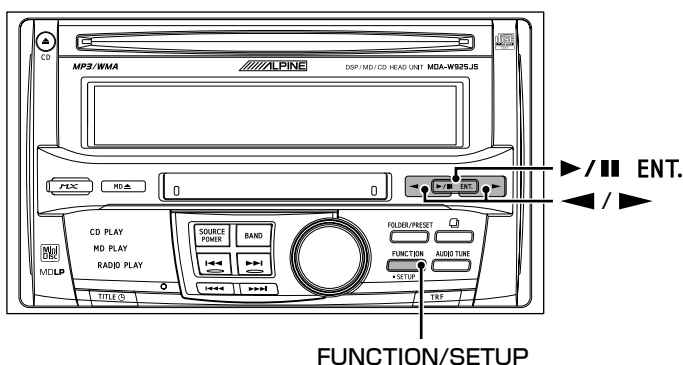
希望のファイルを選びます。

5 を押す

選択したファイルを再生します。

Memo

- M.I.X. 再生中にフォルダ／ファイルサーチはできません。
- フォルダにファイルがない場合は、<NO FILE> と 2 秒間表示します。
- ルートフォルダは <-----> と表示されます。
- サーチモード中に「」を押すと、サーチモードは解除されます。



10秒以内に操作

いろいろな再生 (SCAN、M.I.X.、REPEAT)

- **SCAN (スキャン) :**
ファイルのイントロ部分だけを10秒間ずつ再生します。
- **M.I.X. (ミックス) :**
ディスク内またはフォルダ内のファイルを順不同に再生します。
- **REPEAT (リピート) :**
ファイルを繰り返し再生します。

1 を押す

• SETUP

FUNCTION モードになります。



2 を繰り返し押す

<SCAN>、<M.I.X.>、<REPEAT> のいずれかの表示を点滅させます。



3 を押す

選択したモードになります。

4 を押す

- **SCAN (スキャン)**
<ON> 表示を点滅させます。



- **M.I.X. (ミックス)**
<MIX FLDR> または <MIX ONE> 表示を点滅させます。
MIX FLDR : フォルダ内のファイルを順不同に再生します。
MIX ONE : ディスク内のファイルを順不同に再生します。



- **REPEAT (リピート)**
<RPT FLDR> または <RPT ONE> 表示を点滅させます。
RPT ONE : 再生中のファイルを繰り返し再生します。
RPT FLDR : フォルダ内のファイルを繰り返し再生します。



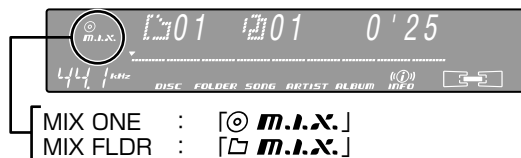
5 を押す

選択したモードで再生されます。

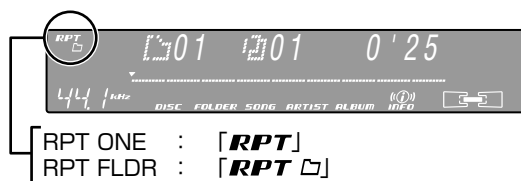
■ SCAN (スキャン) 再生中



■ M.I.X. (ミックス) 再生中



■ REPEAT (リピート) 再生中



■ Memo

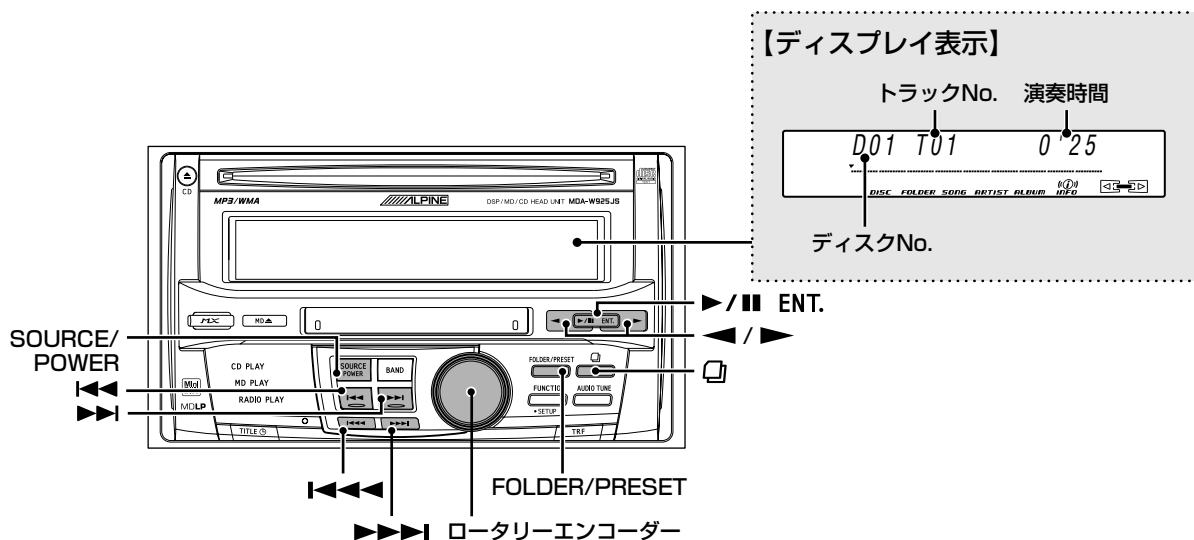
- SCAN、M.I.X.、REPEAT 再生は、同時にできません。

解除するには

手順 1 ～ 5 の操作を行い、各モードを
OFF にする

通常の再生に戻ります。

チェンジャー（オプション）



チェンジャーでMD/CDを聴く

チェンジャーモードを呼び出す

SOURCE POWER を繰り返し押す

<CHANGER> モードを選びます。

聴きたいディスクを選ぶ

◀▶ を押す

「◀」を押すと、前のディスクに戻ります。
「▶」を押すと、次のディスクに進みます。

選択したディスクの最初の曲が再生されます。

音量を調整する

🔊 を廻す

Memo
•車外の音が聞こえる音量でお使いください。

聴きたい曲を選ぶ

⏮ を押す

再生中の曲の頭に戻ります。続けて押すと前の曲の頭出しをします。

⏭ を押す

次の曲に進みます。

Memo
•「⏮」または「⏭」を押しても、聴きたい曲を選ぶことができます。押し続けると連続で曲が切りかわります（クイックサーチ）。指を離すと通常再生に戻ります。

早送り／早戻しをする

を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

を押す

<PAUSE> を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

お知らせ

- Versatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。チェンジャーなど2台の製品を接続している場合は、「BAND」を押して製品を切りかえます。

// 15秒以内に操作

聴きたいフォルダを選ぶ (MP3 対応チェンジャーのみ)

1 を押す

フォルダセレクトモードになります。



2 を繰り返し押す

「◀」を押すと、前のフォルダに戻ります。

「▶」を押すと、次のフォルダに進みます。

選択したフォルダの最初のファイルが再生されます。

// 10秒以内に操作

CDトラック No. から曲を探す

CDチェンジャー接続時、トラックNo.から曲（トラック）を検索し再生させることができます。

1 を押す

サーチモードになり、現在のトラック No. が点滅します。




2 を繰り返し押す

希望の曲を選びます。

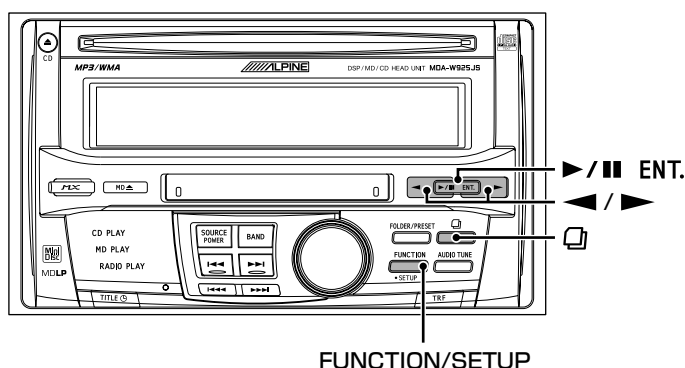
3 を押す

選択した曲を再生します。

Memo

- M.I.X. 再生中にサーチはできません。
- サーチモード中に「」を押すと、サーチモードは解除されます。

チェンジャー（オプション）



10秒以内に操作

フォルダ／ファイルサーチ (MP3 対応チェンジャーのみ)

ディスク内のフォルダからファイルを検索し再生することができます。

1 を押す

フォルダサーチモードになり、フォルダ名が点滅します。



2 を繰り返し押す

希望のフォルダを選びます。

3 を押す

ファイルサーチモードになり、ファイル名が点滅します。




4 を繰り返し押す

希望のファイルを選びます。

5 を押す

選択したファイルを再生します。

■ Memo

- M.I.X. 再生中にフォルダ／ファイルサーチはできません。
- フォルダにファイルがない場合は、<NO FILE> と 2 秒間表示します。
- ルートフォルダは <-----> と表示されます。
- サーチモード中に「」を押すと、サーチモードは解除されます。

いろいろな再生 (SCAN、M.I.X.、REPEAT)

- **SCAN (スキャン) :**
曲のイントロ部分だけを 10 秒間ずつ再生します。
- **M.I.X. (ミックス) :**
ディスク内の曲を順不同に再生します。
- **REPEAT (リピート) :**
曲を繰り返し再生します。

1 FUNCTION を押す

FUNCTION モードになります。



2 を繰り返し押す

<SCAN>、<M.I.X.>、<REPEAT> のいずれかの表示を点滅させます。



3 を押す

選択したモードになります。

4 を押す

- **SCAN (スキャン)**
<ON> 表示を点滅させます。



- **M.I.X. (ミックス)**
<MIX ONE>、<MIX ALL> または <MIX FLDR> 表示を点滅させます。
MIX ONE : ディスク内の曲を順不同に再生し、次のディスクに移動します。
MIX ALL : すべてのディスクの全曲を順不同に再生します。(M.I.X. ALL 対応チェンジャーのみ。MP3 対応チェンジャーは M.I.X. ALL に対応していません。)
MIX FLDR : フォルダ内のファイルを順不同に再生します。(MP3 対応チェンジャーのみ)



- **REPEAT (リピート)**
<RPT ONE>、<RPT FLDR> または <RPT ALL> 表示を点滅させます。
RPT ONE : 1 曲のみを繰り返し再生します。
RPT FLDR : フォルダ内のファイルを繰り返し再生します。
RPT ALL : ディスク内の曲を繰り返し再生します。



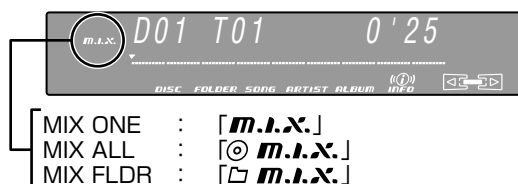
5 を押す

選択したモードで再生されます。

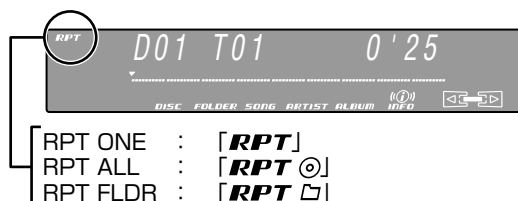
- **SCAN (スキャン) 再生中**



- **M.I.X. (ミックス) 再生中**



- **REPEAT (リピート) 再生中**



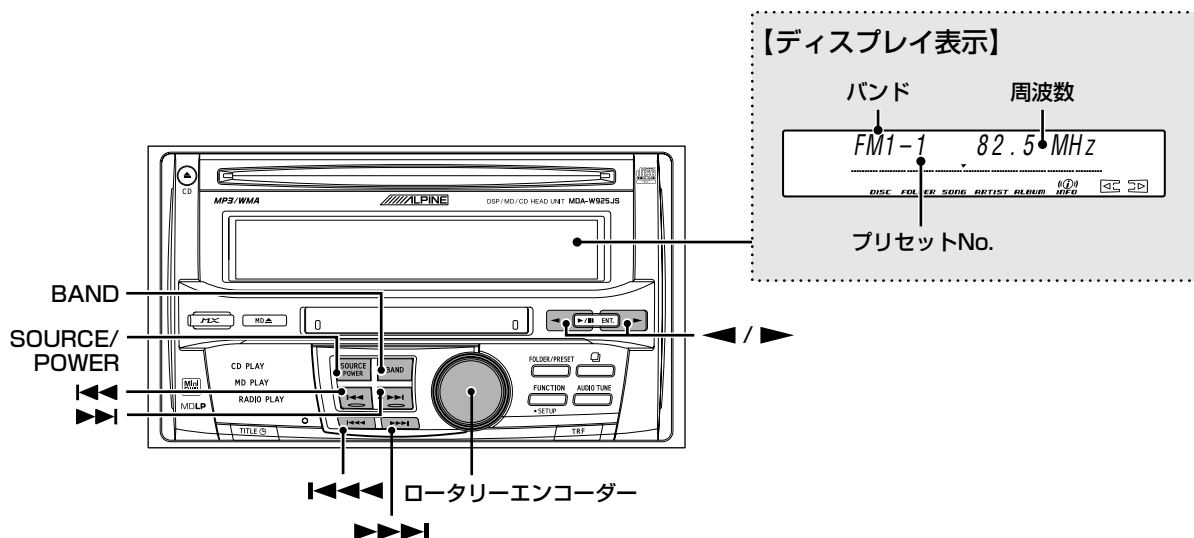
Memo

- M.I.X. ONE 再生と RPT ALL 再生を同時に使用した場合は、再生中のディスクの全曲を順不同に再生しながら繰り返し再生します。

解除するには

手順 1 ~ 5 の操作を行い、各モードを OFF にする

通常の再生に戻ります。



ラジオを聴く

ラジオモードを呼び出す

SOURCE POWER を繰り返し押す

ラジオ <TUNER> モードを選びます。

■ Memo

- TUNERモードにするとアンテナが伸びます。(パワーアンテナ装着車のみ)

バンドを切りかえる

BAND を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → AM → FM1...

音量を調整する

ロータリーエンコーダー を回す

■ Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。

聴きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ (マニュアルモード)

1 段階ずつ周波数が変わります。

← を押す

周波数がダウンします。
押し続けると連続で周波数がダウンします。

→ を押す

周波数がアップします。
押し続けると連続で周波数がアップします。

■ Memo

- AM ラジオの場合は、9KHz ずつ変わります。

自動で選ぶ (ローカルモード SEEK)

電波の強い放送局だけを自動で受信します。

◀◀◀ または ▶▶▶ を押す



■ Memo

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができない場合があります。

自動で選ぶ (ディスタンスモード DX SEEK)

受信可能な放送局を自動で受信します。

◀◀◀ または ▶▶▶ を2秒以上押す



■ Memo

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができない場合があります。

記憶した放送局を選ぶ

あらかじめ記憶（プリセット）されている放送局を選んで受信します。

◀ [P] ▶ を繰り返し押す

■ Memo

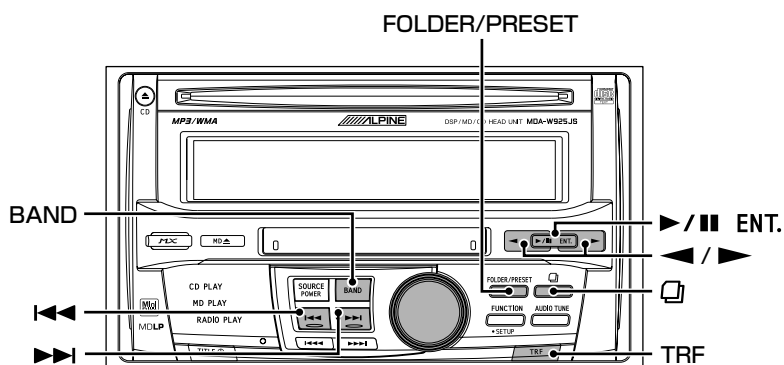
- 放送局を記憶させる操作については、「放送局を記憶する」(28ページ)を参照してください。

🔊 お知らせ

- ディスプレイに<STインジケーター>が点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。(AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。)



STインジケーター



放送局を記憶する

10秒以内に操作

手動で記憶する (P-MEMO)

1 記憶させたい放送局に周波数を合わせます。

2 **FOLDER/PRESET** を押す

プリセットモードになります。

3 **← →** を押す

<P-MEMO> 表示を点滅させます。



4 **▶/|| ENT.** を押す

プリセット No. 表示が点滅します。



5 **← →** を押す

プリセット No. (「1」～「6」) を選びます。

6 **▶/|| ENT.** を押す

プリセット No. に放送局が記憶されます。

Memo

- 放送局は 18 局まで記憶できます。
FM1…6 局、FM2…6 局、AM…6 局
- すでに記憶されている No. に記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶する (A-MEMO)

1 **BAND** を繰り返し押す

バンドを選びます。

2 **FOLDER/PRESET** を押す

プリセットモードになります。

3 **← →** を押す

<A-MEMO> 表示を点滅させます。



4 ENT. を押す

<AUTO-MEMORY> を表示し、自動選局を開始します。

電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されてプリセット No. 「1」～「6」に記憶されます。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信されます。

■:Memo

- 受信電波の弱い地域では、A-MEMOでの自動受信ができない場合があります。放送局を1つも受信（記憶）できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

// 10秒以内に操作

放送局タイトルから探す

あらかじめラジオ放送局にタイトルがついているときは、タイトルから放送局を検索することができます。

1 を押す

ラジオタイトルサーチモードになり、最初に記憶したタイトルが点滅します。




2 を繰り返し押す

希望のタイトルを選びます。

3 ENT. を押す

選択したタイトルの放送局を受信します。

■:Memo

- 放送局にタイトルをつける操作については、「タイトルをつける」(32 ページ) を参照してください。
- 放送局に1つもタイトルが入っていないときは <NO TITLE> を2秒間表示します。
- サーチモード中に「」を押すと、サーチモードは解除されます。

道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)

1 を押す



TRF モードになり、AM 放送の1620kHz または、1629kHzの交通情報を受信します。



2 または を押す

1620kHz / 1629kHz を切りかえます。

■:Memo

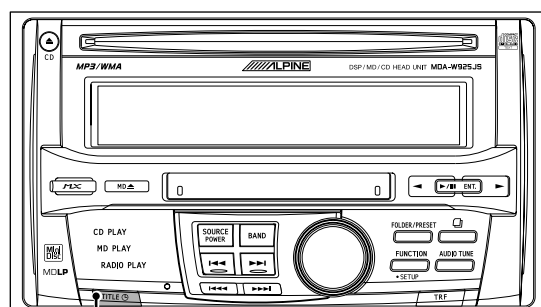
- 「」または「」を押しても周波数を切りかえることができます。
- 交通情報を行なっている地域にあわせて周波数を変更してください。

3 を押す

TRF モードを終了し、元のモードに戻ります。

■:Memo

- どのモード (MD、CD、ラジオ、チェンジャーなど) のときでも交通情報を受信できます。



TITLE ⌚

タイトル / テキスト / スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

■ タイトルとは

文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。「MD」には文字入力できませんが、本機以外の製品で入力した文字を表示することができます。

製品やディスクによっては文字を正確に表示できない場合もあります。(MP3/WMA ディスクのタイトル入力 / 表示は行えません。)

■ テキストとは

あらかじめ CD に入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

■ タイトル / テキスト入力表示一覧

		入力	表示
タイトル	MD	×	○
	CD	○	○
	ラジオ	○	○
対応文字	英数、記号、カタカナ (半角)		
テキスト	MD	×	×
	CD	×	○
	ラジオ	×	×
対応文字	英数、記号 (半角)		

■ スクロールとは

文字を次々に表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「マニュアルモード」とスクロールを繰り返す「オートモード」を搭載しています。CD テキストと MD タイトル、フォルダ名、ファイル名、タグ表示のみスクロール表示します。

タイトル / テキストを表示する

「ラジオ放送局」や「CD」に本機からタイトルを入力していれば、タイトルを表示させることができます。また、CD テキスト対応の音楽 CD や MD の再生中に、ディスク名 / トラック名などを表示させることもできます。MP3/WMA ファイルを再生中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示ができます。

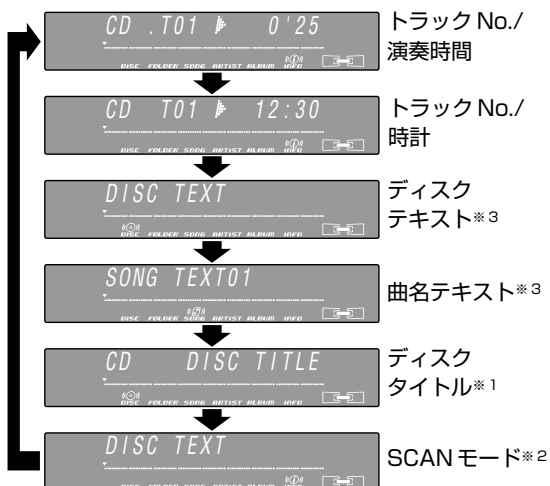
TITLE ⌚ を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。

■ MD



■ CD



■ MP3/WMA



■ ラジオ



※1 タイトルが入っていない場合は <NO TITLE> と表示されます。

※2 SCANモード……下記の文字情報をスクロールして表示します。

MD：タイトル表示（ディスク名/曲名）

CD：テキスト表示（ディスク名/曲名）

MP3/WMA：フォルダ名、ファイル名、タグ表示

※3 CD テキストは半角 128 文字まで表示できます。
CDテキスト対応チェンジャーの場合は半角64文字まで表示できます。

CDテキストが入っていない場合は <NO TEXT> と表示されます。

※4 MP3/WMA ファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示されます（半角 30 文字（WMAは半角 15 文字）まで）。その他の情報や表示可能な文字数を超えた情報は表示されません。
タグ情報がない場合は <NO DATA> と表示されます。

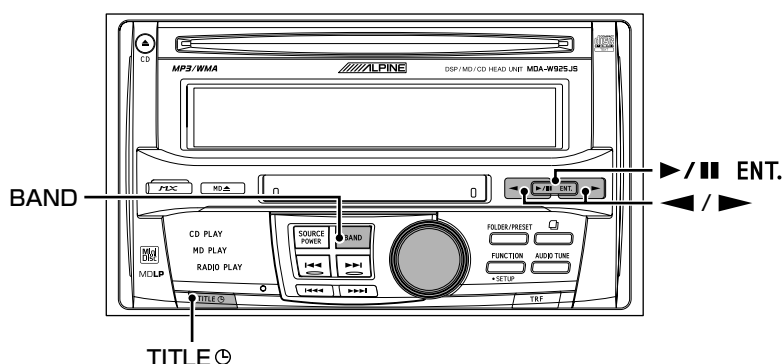
※5 ルートフォルダは <-----> と表示されます。

■ Memo

- CD チェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT 対応の CD チェンジャーのみです。
- 「タグ」「サンプリングレート」「ビットレート」については 64 ページの用語説明を参照してください。
- 表示可能な文字数を超えた情報は表示されません。
- 漢字／ひらがななど本機で表示できない文字情報の場合、<NO SUPPORT> と表示されます。

○ お知らせ

- 「テキストスクロール設定 (SCROLL)」(45 ページ) を「MANUAL」にしているとき、再スクロールを行うには、タイトル/テキスト表示中に「TITLE 〇」を 3 秒以上押します。



タイトルをつける

10秒以内に操作

お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、「CDチェンジャーのCD」にタイトルをつけることができます。
MP3/WMA ディスクにタイトル入力是不可能です。

1 TITLE を押す

タイトル表示モードにします。



2 TITLE を3秒以上押す

1桁目が点滅します。



3 BAND を繰り返し押す

押すたびに文字種類が変わります。

Memo

- 文字種類はディスプレイには表示されません。「カナ」→「大英字」→「小英字」→「数字 / 記号」の順に切りかわります。

4 左右のボタンを繰り返し押す

1桁目の文字記号を入力します。

5 ENT. を押す

入力した文字が確定し、2桁目が点滅します。



手順3～5を繰り返し操作し、タイトルを入力します。

10桁まで入力した場合は、自動的にタイトル入力モードは終了します。10桁未満のときは、手順6へ進みます。

Memo

- タイトルは、10桁まで入力できます。CDチェンジャーの場合は、8桁まで入力できます。

6 TITLE を押す

タイトル入力モードが終了します。

Memo

- ディスプレイに <FULL DATA> と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。
- タイトル名を消すには空白を選び、上記操作手順同様に入力します。
- 内蔵CDは最大CD18枚分までタイトルメモリーできます。
- ラジオ放送局には最大24局 (FM/AM合わせて) まで、タイトルをメモリーできます。
- CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。
- 記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。
- MDにタイトルを入力することはできません。
- 曲にタイトルをつけることはできません。
- MP3/WMAファイルに、ファイル名、フォルダ名、タグ情報を入力することはできません。

記憶したタイトルを消す

本機で入力、記憶したタイトルを消去することができます。

1 を押す

タイトル表示モードにします。



2 を3秒以上押す

1桁目が点滅します。



3 を2秒以上押す

最初にメモリーされたタイトルが点滅します。



4 を繰り返し押す

消去したいタイトルを点滅させます。



5 を2秒以上押す

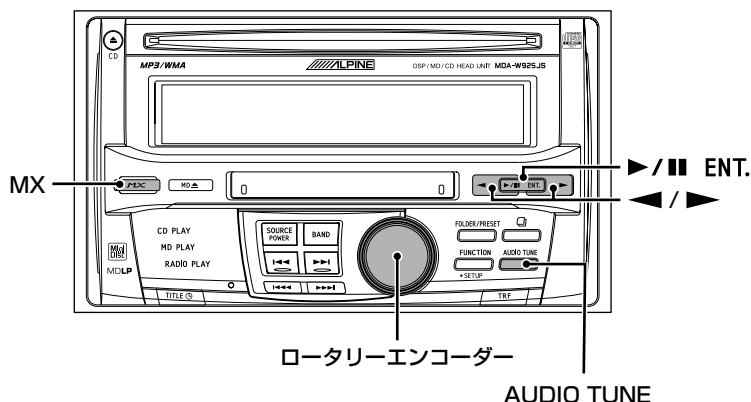
タイトルが消去されます。

6 を押す

タイトル消去モードが解除されます。

■ Memo

- CDテキストを消去することはできません。
- タイトルが1つも記憶されていない場合、または全てのタイトルを消去した場合は、<NO DATA>と2秒間表示されます。



15秒以内に操作

MX モードの設定

MX (Media Xpander) は、FM ラジオ / MD / CD / MP3 など音楽ソースごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 を押す

MX モードを ON にします。
MX レベルを設定する場合は手順 2 へ進みます。



Memo

- MX OFF に設定すると全ての音楽ソースが「MX OFF」となります。

2 を 2 秒以上押す

MX レベル選択モードを呼び出します。



3 を回す

現在選んでいる音楽ソースの MX レベルを選びます。

■ FM : MX レベル 1 ~ 3、OFF

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。

■ CD : MX レベル 1 ~ 3、OFF

情報量豊富な CD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。

■ MP3/WMA / MD / iPod : MX レベル 1 ~ 3、OFF

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。

■ DVD (Video CD) : MOVIE (MX レベル 1 ~ 2)、MUSIC、OFF

- MOVIE (MX レベル 1 ~ 2) : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生します。
- MUSIC : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生します。

■ AUX : MP3、MUSIC、MOVIE、OFF

接続するメディアに対応した MX モード (MP3、MUSIC、MOVIE) が選べます。

■ Memo

- OFF を選ぶと MX の効果が OFF になります。
- AM ラジオは MX を設定できません。

4 を押す

MX レベルを確定し、通常モードに戻ります。

■ Memo

- MX レベルは 1 → 3 の順に効果が大きくなります。
- ディフティート (11 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- MP3/WMA/CD-DA 混在ディスク再生時
「MP3 / WMA → CD - DA」、 「CD - DA → MP3/WMA」に曲が切りかわったときは、MX モードの切りかえ処理のため、曲の演奏までに多少時間がかかることがあります。

HPF/LPF の設定

HPF（ハイパスフィルター）／LPF（ローパスフィルター）を設定することで好みの音響空間を再現することができます。

1 AUDIO TUNE を押す

サウンド調整モードになります。

2 を繰り返し押す

<LPF> または <HPF> 表示を点滅させます。



3 を押す

選択したモードになります。

Memo

- 「サブウーハー設定 (SUBW.)」(45 ページ) を「OFF」に設定した場合、LPF 機能は使用できません。

4 を繰り返し押す

周波数を選びます。

FLAT(OFF) / 80Hz / 120Hz / 160Hz

「◀」を押すと、FLAT(OFF) ← 80Hz ← 120Hz ← 160Hz の順で切りかわります。

「▶」を押すと、FLAT(OFF) → 80Hz → 120Hz → 160Hz の順で切りかわります。

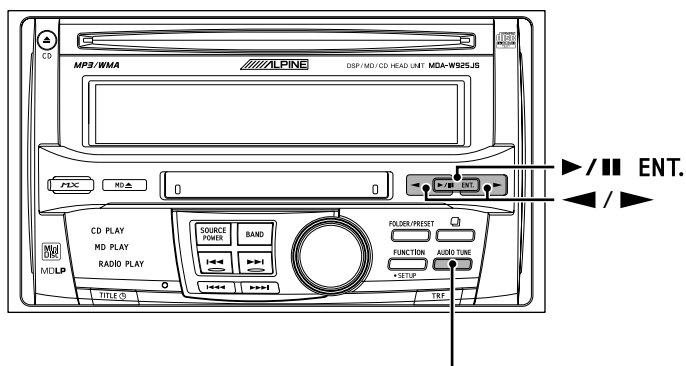


Memo

- HPF 設定の場合、設定した周波数より上の周波数帯域を出力します。
- LPF 設定の場合、設定した周波数より下の周波数帯域を出力します。(本機のサブウーハー出力を使用した場合のみ有効です。)
- LPF、HPF を FLAT(OFF)以外に設定した場合は、本機のサブウーハー出力はモノラルになります。

5 AUDIO TUNE を押す

設定を確定し、通常モードに戻ります。



AUDIO TUNE

15秒以内に操作

イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定することができます。

1 AUDIO TUNE を押す

サウンド調整モードになります。

2 左右の矢印ボタンを繰り返し押す

<EQ> 表示を点滅させます。



3 左右の矢印ボタンを押す

「EQ」モードになり、<SELECT> 表示が点滅します。



4 左右の矢印ボタンを押す

「SELECT」モードになります。

5 左右の矢印ボタンを繰り返し押す

設定したいイコライザー特性の表示を点滅させます。



- FLAT
フラットな周波数。
- POPS
中域中心に全体を強調します。
- ROCK
低域および高域を強調します。
- NEWS
中域だけを強調します。
- P1 ~ P3
設定したイコライザーカーブを呼び出します。

6 AUDIO TUNE を押す

設定を確定し、通常モードに戻ります。

15秒以内に操作

イコライザー特性の設定と記憶

お好みのイコライザー特性を設定し、記憶することができます。

1 AUDIO TUNE を押す

サウンド調整モードになります。

2 を繰り返し押す

<EQ> 表示を点滅させます。



3 を押す

「EQ」モードになり、<SELECT> 表示が点滅します。

4 を押す

<ADJUST> 表示を点滅させます。



5 を押す

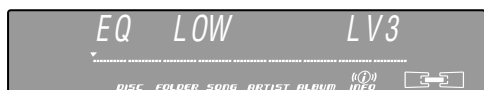
「LOW」レベルの設定モードになります。

設定できるイコライザーバンドは、「LOW(60Hz)」 「MID-LOW(150Hz)」 「MID-HIGH(2.5kHz)」 「HIGH(10kHz)」 の4バンドがあります。

各バンドのレベルを「LOW」→「MID-LOW」→「MID-HIGH」→「HIGH」の順で設定します。手順6～7を繰り返し操作します。

6 を繰り返し押す

各バンドのレベル (LV1～LV9) を調整します。



7 を押す

次のバンドのレベル設定モードへ進みます。

「HIGH」レベルの設定が終了したら、プリセットメモリー (記憶) モードへ進みます。

8 を繰り返し押す

<P-MEMORY> 表示を点滅させます。



■ EXIT

設定したイコライザー特性で出力します。手順12へ進みます。

■ CONTINUE

「ADJUST」モードに戻り、再度イコライザーレベルを設定できます。手順6へ戻ります。

9 を押す

プリセットモードになります。

10 を繰り返し押す

プリセットNo. (「PRESET1」～「PRESET3」) を選びます。



11 を押す

選択したプリセットNo. に設定したイコライザー特性を記憶します。

12 AUDIO TUNE を押す

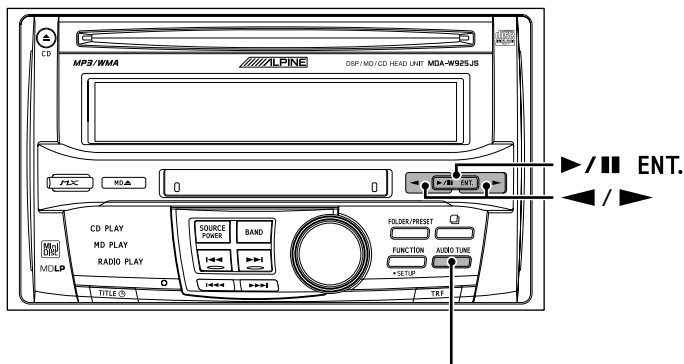
通常モードに戻ります。

■ Memo

- デフォルト (11 ページ) が ON の時は、操作を受け付けません。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。
レベルは、3dB ステップで ±12dB まで調整が可能です。「レベル9 : +12dB」 ← 「レベル7 : +6dB」 ← 「レベル5 : 0dB (FLAT)」 ← 「レベル3 : -6dB」 ← 「レベル1 : -12dB」
- Preset 「1」～「3」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。
- 記憶させた内容は、「イコライザー特性 (メーカー設定)」を選ぶ (36 ページ) の操作で呼び出すことができます。

お知らせ

- サウンド調整機能 (EQ や HPF/LPF など) は外部オーディオプロセッサーを接続した場合、操作を受け付けません。
- サウンド調整機能はプリアウト出力にも有効です。



AUDIO TUNE

タイムコレクションの設定と記憶

15秒以内に操作

お好みのリスニングポジションの音の到達時間差を設定します。操作の前に、「タイムコレクション（時間補正）について」（41 ページ）を参照してください。

1 AUDIO TUNE を押す

サウンド調整モードになります。

2 左右のスピーカーを繰り返し押す

<T-CORR> 表示を点滅させます。



3 再生/一時停止/ENT. を押す

「T-CORR」モードになり、<SELECT> 表示が点滅します。

4 左右のスピーカーを押し

<ADJUST> 表示を点滅させます。



5 再生/一時停止/ENT. を押す

「F-L（左前スピーカー）」の時間補正值設定モードになります。

設定できるスピーカーは、「F-L（左前スピーカー）」「F-R（右前スピーカー）」「R-L（左後スピーカー）」「R-R（右後スピーカー）」です。

各スピーカーの時間補正值を「F-L」→「F-R」→「R-L」→「R-R」の順で設定します。

手順6～7を繰り返し操作します。

6 左右のスピーカーを繰り返し押す

各スピーカーの時間補正值（0.0～9.9）を調整します。



7 再生/一時停止/ENT. を押す

次のスピーカーの時間補正值設定モードへ進みます。

「R-R」スピーカーの設定が終了したら、プリセットメモリー（記憶）モードへ進みます。

8 を繰り返し押す

<P-MEMORY> 表示を点滅させます。



■ EXIT

設定した時間補正值で出力します。手順 12 へ進みます。

■ CONTINUE

「ADJUST」モードに戻り、再度時間補正值を設定できます。手順 6 へ戻ります。

9 ENT. を押す

プリセットモードになります。

10 を繰り返し押す

プリセット No. (「PRESET1」～「PRESET6」) を選びます。



11 ENT. を押す

選択したプリセットNo. に設定したタイムコレクションを記憶します。

12 を押す

通常モードに戻ります。

■ Memo

- Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。
- 記憶させた内容は、「記憶したタイムコレクションを選ぶ」(40ページ)の操作で呼び出すことができます。



記憶したタイムコレクションを選ぶ

15秒以内に操作

設定したタイムコレクション(時間補正值)を選択できます。

1 AUDIO TUNE を押す

サウンド調整モードになります。

2 左右の矢印ボタンを繰り返し押す

<T-CORR> 表示を点滅させます。



3 左右の矢印ボタンを押す

「T-CORR」モードになり、<SELECT> 表示が点滅します。



4 左右の矢印ボタンを押す

「SELECT」モードになります。

5 左右の矢印ボタンを繰り返し押す

プリセットNo. (「PRESET1」～「PRESET6」) を選びます。



6 左右の矢印ボタンを押す

選択したプリセットNo. を呼び出します。

7 AUDIO TUNE を押す

通常モードに戻ります。

タイムコレクション (時間補正) について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。

2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

3 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温 20℃）で割る。

その値が各スピーカーの時間補正値となる。

・計算式

$$\frac{(\text{一番遠いスピーカーの距離} - \text{算出したいスピーカーの距離}) \times 1000}{343}$$

= 時間補正値（この数値を手動で入力してください。）

■ 具体例

右記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

（条件）：

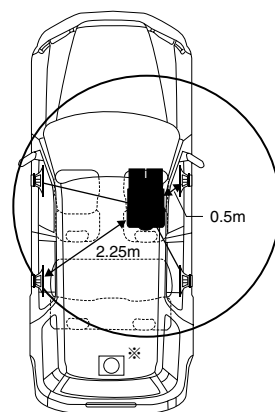
一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

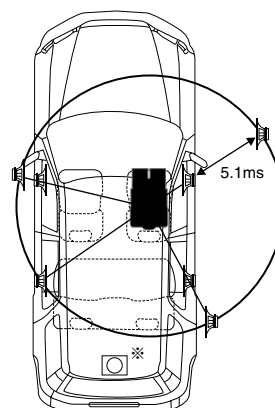
（算出）： $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に 5.1 (ms) とすることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違いのために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは 1.75m の差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。

右前スピーカーに 5.1 ms の時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

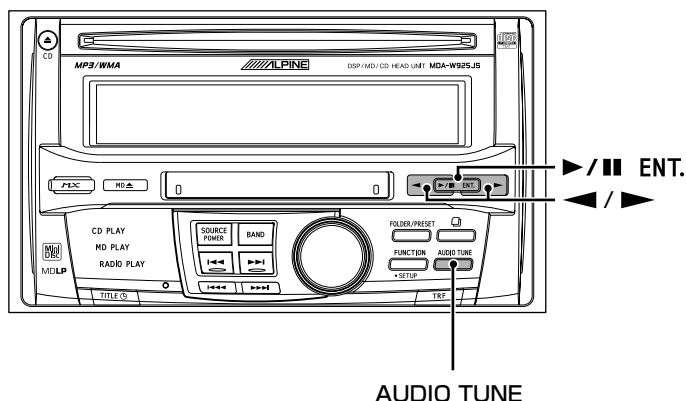
■ Memo

・サブウーハー*の時間補正はできませんが、フロント/リアスピーカーの時間補正を行うことで、サブウーハーをフロント方向に定位させることができます。

・車種・システムに合わせたタイムコレクションのデータを、アルパインオーナー専用 Web サイトの「i-Personalize™」にアクセスし、Web 上からプリントアウトしたデータを参考に、マニュアル入力してください。ただし、車種によってはデータがない場合があります。

詳しくは ALPINE Web サイトをご覧ください。（<http://www.alpine.co.jp>）

・手順2で算出した「距離の差」は、時間差表（43ページ）の「距離」にあたります。手順3で算出する時間補正値は「時間差表」の「距離」で参照できます。



Bass Focus の設定

15秒以内に操作

あらかじめ設定されているステップ値（時間差）を使用することで、前後／左右同時に時間差を設定でき、感覚的に時間補正を調整することができます。
ステップは、0.1ms 間隔で 0～99 ステップ用意しています。

Memo

- 運転席では低音の遅れが原因で音楽が鈍く聴こえがちです。Bass Focus を使うことで、音場位置を見かけ上、前方に移動し最適な音場バランスが得られます。

1 AUDIO TUNE を押す

サウンド調整モードになります。

2 左右方向キーを繰り返し押す

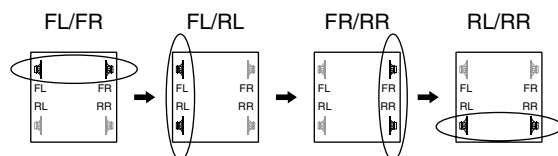
<B-FOCUS> 表示を点滅させます。



3 進退キー ENT. を押す

「FL/FR（前左右スピーカー）」のステップ設定モードになります。

設定できるチャンネル（スピーカー）は、「FL/FR（前左右スピーカー）」「FL/RL（左前後スピーカー）」「FR/RR（右前後スピーカー）」「RL/RR（後左右スピーカー）」です。各チャンネル（スピーカー）のステップを「FL/FR」→「FL/RL」→「FR/RR」→「RL/RR」の順で設定します。



手順 4～5 を繰り返し操作します。

4 左右方向キーを繰り返し押す

各チャンネル（スピーカー）のステップ（0～99）を調整します。



5 を押す

次のチャンネル（スピーカー）のステップ設定モードへ進みます。

「RL/RR」の設定が終了したら、手順6へ進みます。

6 を繰り返し押す

<EXIT> 表示を点滅させます。



EXIT

設定した Bass Focus で出力します。手順7へ進みます。

CONTINUE

ステップ設定モードに戻り、再度チャンネル（スピーカー）のステップを設定できます。手順4へ戻ります。

7 を押す

8 を押す

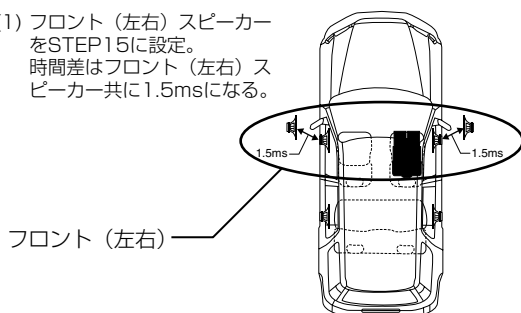
通常モードに戻ります。

Memo

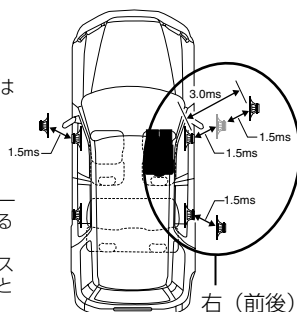
- Bass Focus での設定は、タイムコレクションにも反映されません。

Bass Focus 設定例

- (1) フロント（左右）スピーカーをSTEP15に設定。
時間差はフロント（左右）スピーカー共に1.5msになる。



- (2) 右（前後）スピーカーをSTEP15に設定。
時間差は右前スピーカーは3.0ms*、右後スピーカーは1.5msとなる。

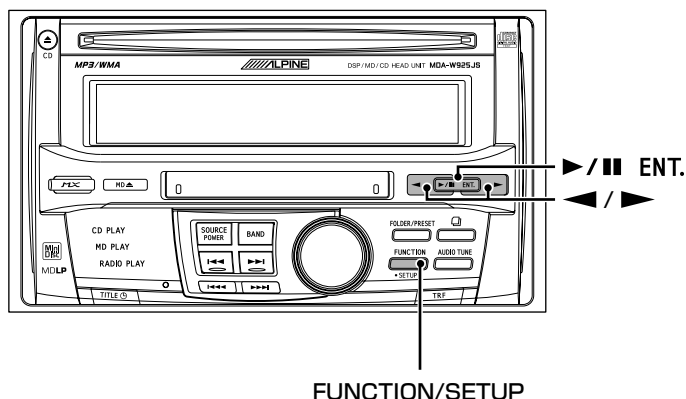


* (1)の調整で、すでに右前スピーカーは1.5msに設定されているため、右側スピーカーをSTEP15に設定すると、右前スピーカーは加算されて3.0msとなる。

時間差表

STEP数	時間差(ms)	距離(cm)	STEP数	時間差(ms)	距離(cm)
0	0.0	0.0	50	5.0	171.5
1	0.1	3.4	51	5.1	174.9
2	0.2	6.9	52	5.2	178.4
3	0.3	10.3	53	5.3	181.8
4	0.4	13.7	54	5.4	185.2
5	0.5	17.2	55	5.5	188.7
6	0.6	20.6	56	5.6	192.1
7	0.7	24.0	57	5.7	195.5
8	0.8	27.4	58	5.8	198.9
9	0.9	30.9	59	5.9	202.4
10	1.0	34.3	60	6.0	205.8
11	1.1	37.7	61	6.1	209.2
12	1.2	41.2	62	6.2	212.7
13	1.3	44.6	63	6.3	216.1
14	1.4	48.0	64	6.4	219.5
15	1.5	51.5	65	6.5	223.0
16	1.6	54.9	66	6.6	226.4
17	1.7	58.3	67	6.7	229.8
18	1.8	61.7	68	6.8	233.2
19	1.9	65.2	69	6.9	236.7
20	2.0	68.6	70	7.0	240.1
21	2.1	72.0	71	7.1	243.5
22	2.2	75.5	72	7.2	247.0
23	2.3	78.9	73	7.3	250.4
24	2.4	82.3	74	7.4	253.8
25	2.5	85.8	75	7.5	257.3
26	2.6	89.2	76	7.6	260.7
27	2.7	92.6	77	7.7	264.1
28	2.8	96.0	78	7.8	267.5
29	2.9	99.5	79	7.9	271.0
30	3.0	102.9	80	8.0	274.4
31	3.1	106.3	81	8.1	277.8
32	3.2	109.8	82	8.2	281.3
33	3.3	113.2	83	8.3	284.7
34	3.4	116.6	84	8.4	288.1
35	3.5	120.1	85	8.5	291.6
36	3.6	123.5	86	8.6	295.0
37	3.7	126.9	87	8.7	298.4
38	3.8	130.3	88	8.8	301.8
39	3.9	133.8	89	8.9	305.3
40	4.0	137.2	90	9.0	308.7
41	4.1	140.6	91	9.1	312.1
42	4.2	144.1	92	9.2	315.6
43	4.3	147.5	93	9.3	319.0
44	4.4	150.9	94	9.4	322.4
45	4.5	154.4	95	9.5	325.9
46	4.6	157.8	96	9.6	329.3
47	4.7	161.2	97	9.7	332.7
48	4.8	164.6	98	9.8	336.1
49	4.9	168.1	99	9.9	339.6

SET UP (セッアップ)



セッアップ (SETUP) する

本機には、さまざまなセッアップ (SETUP) 機能が用意されています。自分好みの設定に変更してお使いください。

1 FUNCTION を押す

MD、CD、チェンジャー、iPod モードのときは、2 回押します。
SETUP モードになります。



2 を繰り返し押す

変更する設定項目を表示させます。



3 ENT. を繰り返し押す

設定内容の表示が切りかわります。

4 FUNCTION を押す

元のモードに戻ります。

設定項目一覧

設定項目	初期設定値
TUNER	NORMAL
DIMMER	AUTO
SUBW.	ON
CD-DA	CD-DA ONLY
BEEP	ON
SCROLL	MANUAL
INT MUTE	ON
INT AUDIO	OFF
AUX IN	OFF
CONTRAST	± 0
DEMO	OFF

Memo

- リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしても設定した内容は保持されます。(サブウーハーの ON/OFF 設定は除く)

TUNER(FM)音質設定 (TUNER)

FMラジオの音質を設定することができます。

設定項目：TUNER

設定内容：NORMAL (出荷時の設定) / HI-FI / STABLE

NORMAL：標準設定

HI-FI：音質重視設定

STABLE：ノイズを抑えた設定

■:Memo

- HI-FI では受信状態によって、ノイズが目立つ場合があります。

ディスプレイの明るさ設定 (DIMMER)

ヘッドライト点灯に合わせて、ディスプレイの明るさを変更できます。夜間、ディスプレイが明るすぎる場合は、「AUTO」にすることをお勧めします。

設定項目：DIMMER

設定内容：AUTO (出荷時の設定) / MANUAL

AUTO：ヘッドライト点灯のとき、ディスプレイが減光します。

MANUAL：ヘッドライトを点灯してもディスプレイは減光しません。

■:Memo

- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。

サブウーハー設定 (SUBW.)

サブウーハー (別売) を接続したときに設定します。

設定項目：SUBW.

設定内容：ON (出荷時の設定) / OFF

ON：サブウーハー出力

OFF：リア出力

■:Memo

- サブウーハー出力はモノラル出力になります。

MP3/WMA 再生データ設定

同じディスクにオーディオデータ (CD-DA) と MP3/WMA データが混在する場合、オーディオデータのみを再生するか、オーディオデータと MP3/WMA の両方とも再生するかを設定することができます。

■:Memo

- この設定は、ディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。(MP3 チェンジャーの場合、ディスクチェンジを行ってください。)

設定項目：CD-DA

設定内容：CD-DA ONLY (出荷時の設定) /
CD-DA&MP3/WMA

CD-DA ONLY：オーディオデータのみを再生できません。

CD-DA&MP3/WMA：オーディオデータと MP3/WMA 両方を再生できます。

操作音設定 (BEEP)

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受け付けたことを伝えます。

設定項目：BEEP

設定内容：ON (出荷時の設定) / OFF

ON：ボタンを押したときに操作音が鳴ります。

OFF：ボタンを押したときに操作音が鳴りません。

テキストスクロール設定 (SCROLL)

タイトルやテキスト情報、タグ情報などを表示させたときのスクロールタイプを設定できます。

設定項目：SCROLL

設定内容：AUTO / MANUAL (出荷時の設定)

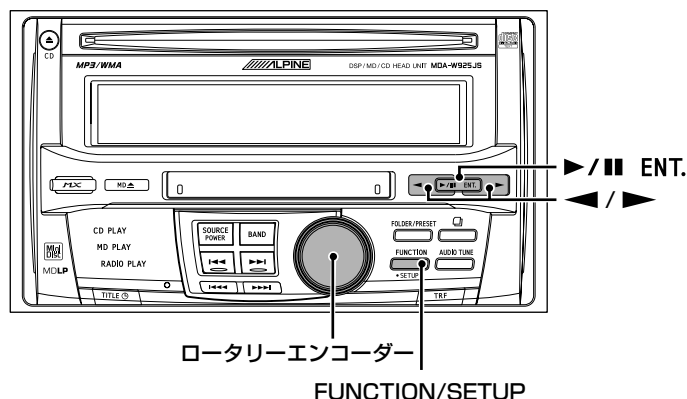
AUTO：繰り返しスクロールします。

MANUAL：最初の一度だけスクロールします。

■:Memo

- 「タイトルをつける」(32 ページ) で入力したラジオタイトル、CD タイトルはスクロールしません。

SET UP (セッアップ)



外部割込みモード設定 (INT MUTE)

別売のAi 割り込みBOX (NVE-K200) /Versatile Link Terminal (KCA-410C) /Ai-RCA 変換ケーブル (KCA-121B) などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。

設定項目：INT MUTE

設定内容：ON (出荷時の設定) /OFF

ON：外部音声を割り込みできません。

OFF：外部音声を割り込みできます。

Memo

- 組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

外部割り込み時のディフューズ設定 (INT AUDIO)

外部割り込みした音声に対し、本機のEQ/MXをディフューズさせて出力させるか設定できます。

設定項目：INT AUDIO

設定内容：ON/OFF (出荷時の設定)

ON：本機のEQ/MXをディフューズさせて割り込み音声を出力します。

(ディフューズ：EQを初期値、MXをOFFにします。)

OFF：本機のEQ/MXをディフューズさせないで割り込み音声を出力します。

外部入力設定 (AUX IN)

別売のVersatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせると、RCA 音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に音声を入力させることができます。

設定項目：AUX IN

設定内容：ON / OFF (出荷時の設定)

AUX INをONに設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品の表示名を選択してください。

1  を繰り返し押す

「AUX」を表示させます。

Memo

- 外部入力を2台接続している場合は、「AUX1」または「AUX2」を表示させます。

2  を繰り返し押す

外部入力製品の表示名を「AUX」、「TV」、「VTR」、「GAME」から選びます。

ディスプレイの濃淡調整 (CONTRAST)

ディスプレイの表示が見えにくいときは、ディスプレイの濃さを調整することができます。

設定項目：CONTRAST

設定内容：-6 (暗い) ~ +6 (明るい)

(出荷時の設定：±0)

Memo

- 「ロータリーエンコーダー」を回転させて調整することもできます。

デモンストレーション機能 (DEMO)

本機には、表示および音の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

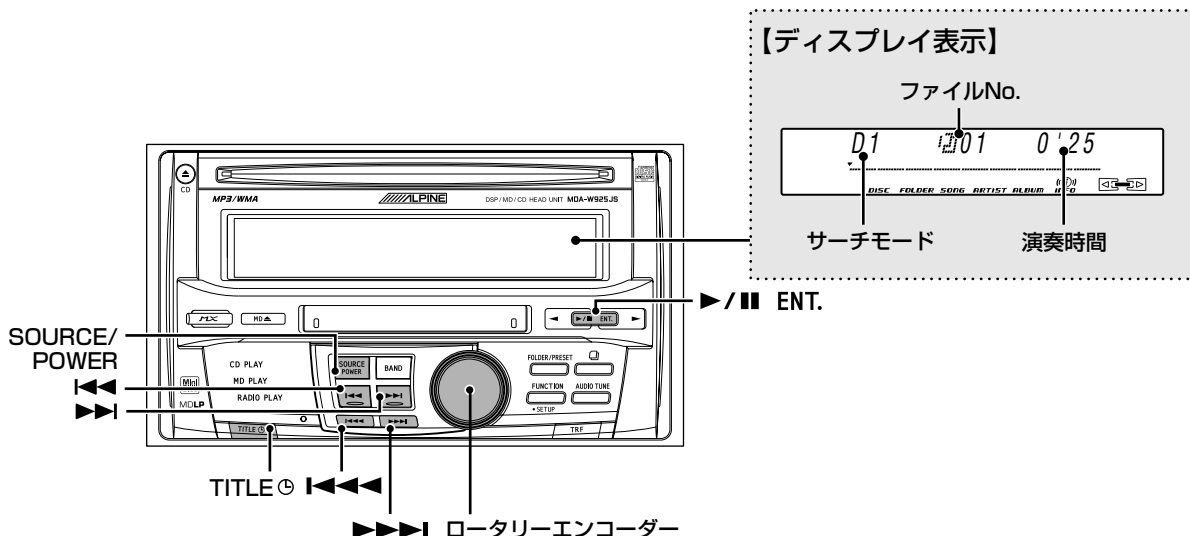
設定項目：DEMO

設定内容：ON/OFF (出荷時の設定)

SETUPモードを終了するとデモンストレーション (表示と音の演出) を自動的に開始します。

■:Memo

- デモンストレーションをご使用になったら、必ず「OFF」に設定して解除してください。



iPod® の曲を聴く

iPod® を別売の INTERFACE ADAPTER FOR iPod (KCA-420i) を使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。その際、iPod からの操作はできません。

Memo

- iPod の機能については、iPod ユーザーズガイドを参照してください。
- 組み合わせる INTERFACE ADAPTER FOR iPod (KCA-420i) の取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

● 本機対応の iPod について

- 本機は、第3世代以降の iPod、iPod photo、iPod mini、iPod nano に対応しております。iPod shuffle には対応していません。
- Dock コネクタに対応していないタッチホイール、スクロールホイールタイプの iPod は、本機に接続することはできません。
- 本機で対応している iPod のバージョンは次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
 - 第3世代 iPod : Ver 2.3
 - 第4世代 iPod : Ver 3.0.2
 - iPod photo : Ver 1.1
 - iPod mini : Ver 1.3
 - iPod nano : Ver 1.0
- 本機は iPod Update 2005-02-22 より前のソフトウェア・バージョンには対応していません。「iPod ソフトウェア・アップデート」について詳しくは、iPod ユーザーズガイドを参照してください。

iPod モードを呼び出す

iPod モードは CHANGER と表示されます。

SOURCE
POWER

を繰り返し押す

<CHANGER> モードを選びます。

音量を調整する



を廻す

Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。

聴きたい曲を選ぶ



を押す

再生中の曲の頭に戻ります。続けて押すと前の曲の頭出しをします。



を押す

次の曲に進みます。

Memo

- 「I<<<<」または「>>>>I」を押しても、聴きたい曲を選ぶことができます。押し続けると連続で曲が切りかわります（クイックサーチ）。指を離すと通常再生に戻ります。

早送り／早戻しをする



を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。
曲の頭に戻ると再生が始まります。



を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。
次の曲に進むと再生が始まります。

一時停止する



を押す

<PAUSE> を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

■Memo

- 再生中のiPodを本機と接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、iPodとチェンジャーを接続している場合は、「BAND」を押してiPod側を選びます。
- 256以上ファイルがあった場合、再生は可能ですが表示が異なる場合があります。

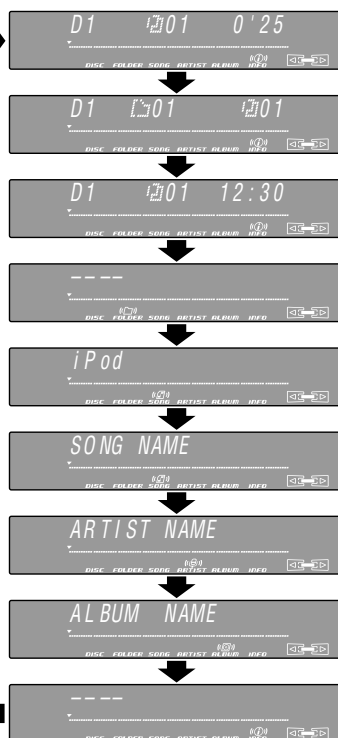
テキストを表示する

iPodの曲のタグ情報を表示させることができます。
iPodモードの表示はMP3モードに対応していますが、一部表示内容が異なります。



を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。



サーチモード※1/ ファイルNo. ※2/ 演奏時間

サーチモード※1/ フォルダNo. ※3/
ファイルNo. ※2

サーチモード※1/
ファイルNo. ※2/ 時計

※4

※4

曲名※5

アーティスト名※5

アルバム名※5

SCANモード※6

※1 現在のサーチモード(「D1」～「D3」)が表示されます。
サーチモードについて詳しくは「聴きたい曲を探す」(50ページ)を参照してください。

※2 ファイルNo. 表示は「01」固定表示。

※3 フォルダNo. 表示はファイルNo. が表示されます。
表示できるファイルNo. は255までです。256番目以降のファイルも255と表示されます。

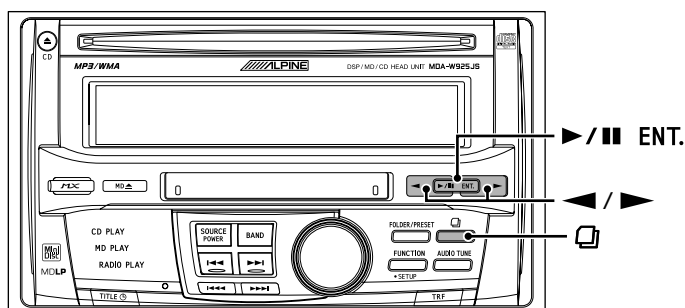
※4 固定表示。

※5 タグ表示。

※6 SCANモード表示部にはタグ情報などの文字情報をスクロールして表示します。

■Memo

- 半角英数記号 (ASCII) のみ、表示することができます。
- iTunesでアーティスト名、アルバム名、曲名を設定するときに、文字数が多くなると本機接続時に曲が再生されない場合があります。
250文字以内に設定することをお勧めします。詳しくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。ただし、ヘッドユニットで表示可能な文字数は64文字 (64byte) までになります。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- 漢字 / ひらがななど本機で対応していない文字情報の場合、<NO SUPPORT> と表示されます。



聴きたい曲を探す

10秒以内に操作

iPodには数百曲・数千曲が入るため聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではファイルサーチ機能を使用して様々な検索を行うことができます。

以下のサーチモードを選択することができます。

D1 選択：Playlist（プレイリスト）サーチモード

D2 選択：アーティストサーチモード

D3 選択：アルバムサーチモード

Memo

- ファイルサーチで検索できるPlaylist（プレイリスト）、アーティスト、アルバムの数はそれぞれ511までです。
- シャッフル（M.I.X.）演奏中にサーチ機能を使用することはできません。
- iPodに登録されているPlaylist（プレイリスト）、アーティスト、アルバムがひとつしかない場合には、それぞれのサーチモードで曲を検索することはできません。
- Playlist（プレイリスト）でサーチを行うと、iPodに登録してある「iPod名」も表示されます。
- 例えばアーティストサーチモードでアーティストを選択すると、選択したアーティストのアルバム以外はサーチできなくなります。状態を解除して全ての曲から検索を行うには、Playlistサーチモードで「iPod名」を選択してください。
- サーチモード中に「」を押すと、サーチモードは解除されます。

Playlist（プレイリスト）から探す

1 を繰り返し押す

<D1> を表示させます。
Playlist サーチモードになります。



2 を押す

フォルダサーチモードになり、曲名が点滅します。



3 を押す

ファイルサーチモードになり、Playlist が点滅します。



4 を繰り返し押す

希望のPlaylistを選びます。

5 を押す

選択したPlaylistを繰り返し再生します。

アーティスト名から探す

1 を繰り返し押す

<D2> を表示させます。
アーティストサーチモードになります。



2 を押す

フォルダサーチモードになり、曲名が点滅します。



3 を押す

ファイルサーチモードになり、アーティスト名が点滅します。



4 を繰り返し押す

希望のアーティストを選びます。

5 を押す

選択したアーティストのすべての曲を繰り返し再生します。

ディスプレイに <D3> が表示され、アルバムサーチモードになります。続いてアーティストのアルバムを検索するには手順6へ進みます。



6 を押す

フォルダサーチモードになり、曲名が点滅します。



7 を押す

ファイルサーチモードになり、アルバム名が点滅します。



8 を繰り返し押す

希望のアルバムを選びます

9 を押す

選択したアルバムのすべての曲を繰り返し再生します。

アルバム名から探す

1 を繰り返し押す

<D3> を表示させます。
アルバムサーチモードになります。



2 を押す

フォルダサーチモードになり、曲名が点滅します。



3 を押す

ファイルサーチモードになり、アルバム名が点滅します。

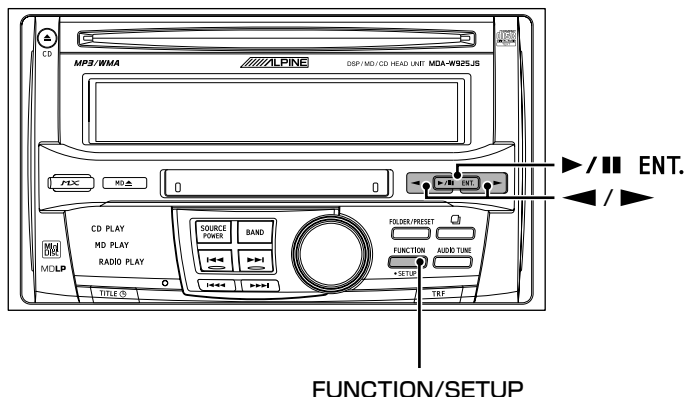


4 を繰り返し押す

希望のアルバムを選びます。

5 を押す

選択したアルバムのすべての曲を繰り返し再生します。



いろいろな再生 (M.I.X.、REPEAT)

10秒以内に操作

● M.I.X. (ミックス) :

iPodのシャッフル機能と同じです。iPod内またはアルバム内の曲を順不同に再生します。

● REPEAT (リピート) :

曲を繰り返し再生します。

1 FUNCTION • SETUP を押す

FUNCTION モードになります。



2 を繰り返し押す

<M.I.X.> または <REPEAT> のいずれかの表示を点滅させます。



■ Memo

- SCAN 再生には対応していません。

3 を押す

選択したモードになります。

4 を押す

■ M.I.X. (ミックス)

<MIX FLDR> または <MIX ONE> 表示を点滅させます。

シャッフル・アルバム (M.I.X. FLDR) :

iPod 内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに再生します。

あらかじめプレイリスト・アーティストサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに再生します。

シャッフル・曲 (M.I.X. ONE) :

iPod 内の全曲を順不同に再生します。

あらかじめプレイリスト・アーティスト・アルバムサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト・アルバムの曲を全曲、順不同に再生します。



■ REPEAT (リピート)

<RPT ONE> 表示を点滅させます。

RPT ONE : 1 曲のみを繰り返し再生します。



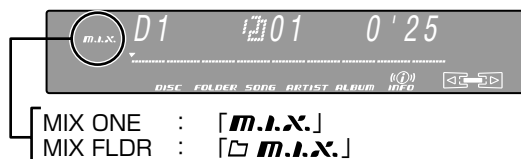
■ Memo

- RPT FLDR、RPT ALL には対応していません。

5 を押す

選択したモードで再生されます。



■ M.I.X. (ミックス) 再生中



■ REPEAT (リピート) 再生中



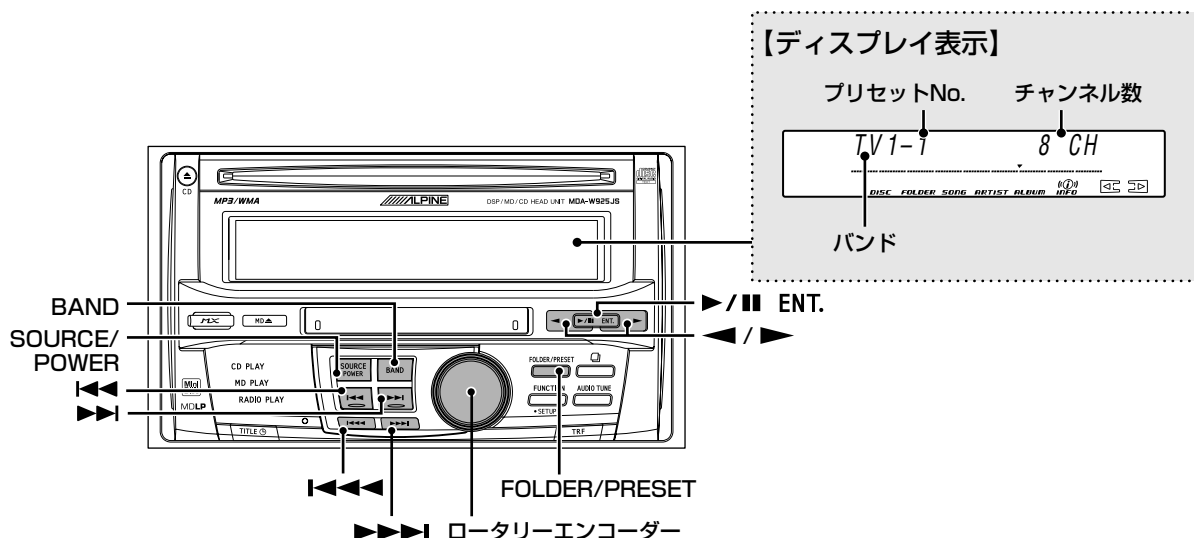
■ Memo

- アルバムサーチモードで曲を選んでいたら、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル (M.I.X.) 再生されません。
- アルバムが 1 つしかない場合や、プレイリストの中にアルバムがない場合は、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル (M.I.X.) 再生されません。
- リピート再生中は「」「」を押して他の曲を選ぶことはできません。

解除するには

手順 1 ～ 5 の操作を行い、各モードを OFF にする

通常の再生に戻ります。



Memo

- Ai-NET 対応 TV(TVA-T017 など)は現在発売されていません。

TV (Ai-NET 対応) を操作する

テレビモードを呼び出す

SOURCE POWER を繰り返し押す

テレビ <TV> モードを選びます。

バンドを切りかえる

BAND を繰り返し押す

バンドを選びます。

TV1 → TV2 → TV3 → TV1…
(バンド切りかえ表示は TV 製品によって異なります)

音量を調整する



Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。

放送局を選ぶ

手動で選ぶ (マニュアルモード)

1 段階ずつチャンネルが変わります。

◀ を押す

チャンネルがダウンします。
押し続けると連続でチャンネルがダウンします。

▶ を押す

チャンネルがアップします。
押し続けると連続でチャンネルがアップします。

自動で選ぶ (SEEK)

受信可能な放送局を自動で受信します。

◀◀ または ▶▶ を押す

Memo

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができない場合があります。

記憶した放送局を選ぶ

あらかじめ記憶（プリセット）されている放送局を選んで受信します。

  を繰り返し押す

Memo

- 放送局を記憶させる操作については、「放送局を記憶する」(55 ページ) を参照してください。

10 秒以内に操作

放送局を記憶する

手動で記憶する (P-MEMO)

1 記憶させたい放送局にチャンネルを合わせます。

2  を押す

プリセットモードになります。

3   を押す

<P-MEMO> 表示を点滅させます。



4  を押す

プリセット No. 表示が点滅します。



5   を押す

プリセット No. (「1」～「6」) を選びます。

6  を押す

プリセット No. に放送局が記憶されます。

Memo

- 放送局は 18 局まで記憶できます。
TV1…6 局、TV2…6 局、TV3…6 局
- すでに記憶されている No. に記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶する (A-MEMO)

1  を繰り返し押す

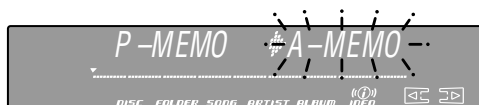
バンドを選びます。

2  を押す

プリセットモードになります。

3   を押す

<A-MEMO> 表示を点滅させます。



4  を押す

<AUTO-MEMORY> を表示し、自動選局を開始します。

電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されてプリセット No. 「1」～「6」に記憶されます。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信されます。

Memo

- 受信電波の弱い地域では、A-MEMOでの自動受信ができない場合があります。放送局を 1 つも受信（記憶）できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。



取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

・ RCA コード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用される RCA 考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

9) スピーカーの接続

- 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
- スピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものをお使いください。

10) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。

11) 取り付け場所について

ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。

12) 水平に対して 35 度以内に取り付けてください。

13) 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード

サラネジ
(M5 × 8)

バインドネジ
(M5 × 8)



× 6

× 8

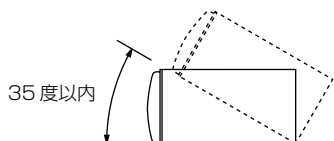
- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、4. 取り付ける の手順2 で利用します。)

3. 接続する

- 58 ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓ 点かもれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

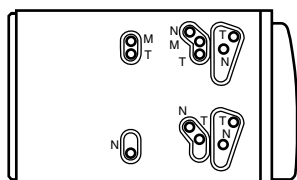
4. 取り付ける

1. ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

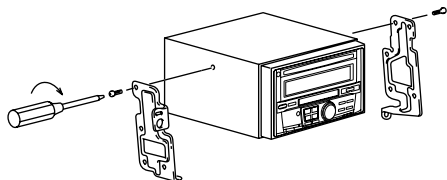
取り付け用ネジ穴



N穴→ニッサン車 M穴→ミツビシ車※

T穴→トヨタ車・ミツビシ車※

※取り付ける車種により異なります。



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

5. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

■ Memo

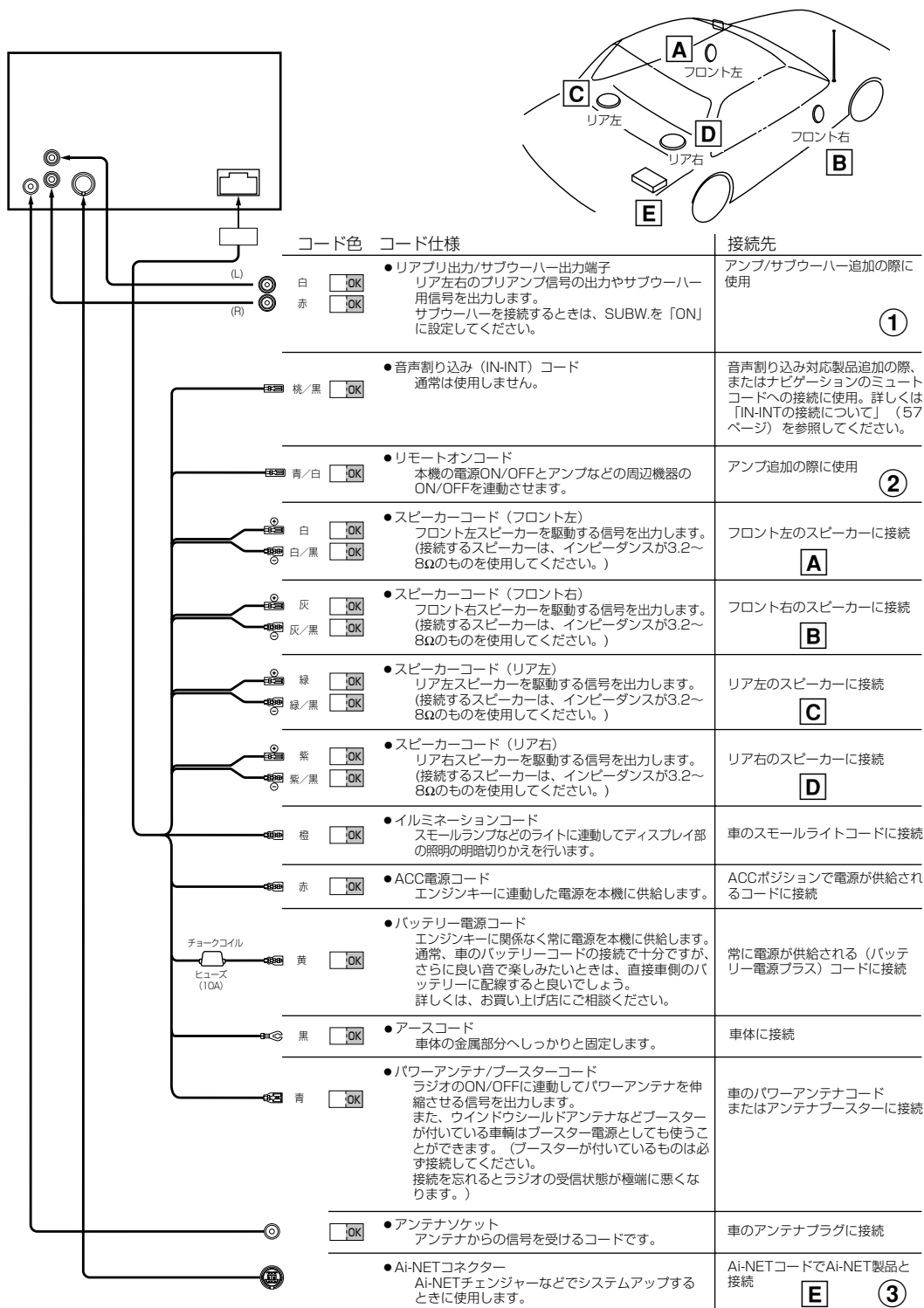
IN-INT の接続について

IN-INT コードは次の組み合わせ時に使用します。

- 音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
- OUT-INT 対応の製品と組み合わせる
Ai 割り込み BOX (NVE-K200)、または Ai-RCA 変換ケーブル (KCA-121B) などと OUT-INT 対応の TV (TVE-T038 など) を組み合わせて使用するとき接続します。
TV の音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。



基本接続図

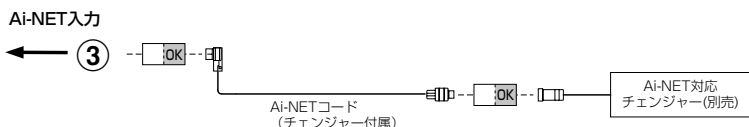


■Memo

- 上記接続先の丸番号は、**6. システムアップの例**で使用します。

6. システムアップの例

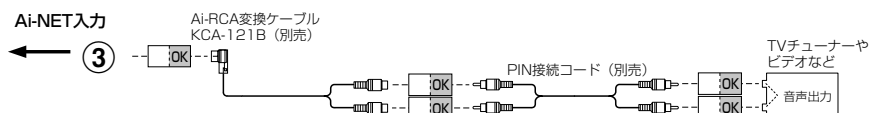
● チェンジャーを接続する。



■ Memo

- チェンジャーは 1 台のみ接続可能です。

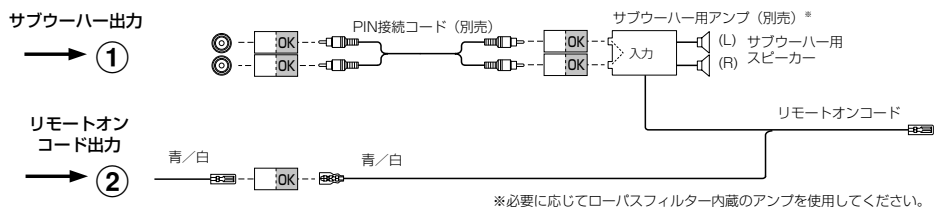
● 外部入力にビデオなどを接続する。



■ Memo

- 「外部入力設定 (AUX IN)」 (46 ページ) を参照してください。

● サブウーハーアンプを接続する。

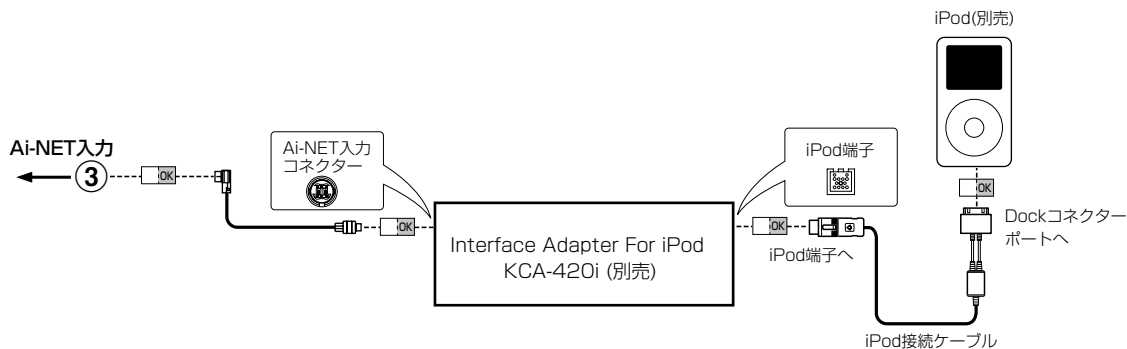


※必要に応じてローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

■ Memo

- 「サブウーハー設定 (SUBW.)」 (45 ページ) を参照してください。

● 「iPod」 + 「Interface Adapter For iPod」を接続する



● お知らせ

- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー 2 台、テレビやビデオなど (外部入力) 2 台、計 4 台の製品を接続することができます。
詳しくは KCA-410C の説明書を参照してください。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

→ 接続・配線は正しく行われていますか？

→ 下の表をもう一度ご確認ください。

→ それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口 (P63) にご相談ください。

● 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源を OFF → ON してください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

共通部

動作しない。／ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
・ 規定容量のヒューズと交換する。(→ P58)
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。(→ P10)

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
・ 音量レベルを上げる。(→ P11)
- フェーダーの設定が適切でない。
・ 2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。(→ P11)

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
・ もう一度記憶する。(→ P12、28、32)
- バッテリーコードの接続ミス
・ 接続を確認する。(→ P58)

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
・ しばらく待つ。

サウンド調整ができない。

- ディフェルトが ON になっている。
・ ディフェルトを OFF にする。(→ P11)

サブウーハーの音が出ない。

- サブウーハーの設定が OFF になっている。
・ サブウーハーの設定を ON にする。(→ P45)
- サブウーハー出力レベル調整が行っていない。
・ サブウーハー出力レベル調整を行う。(→ P11)

表示が勝手に切りかわってしまう。

- デモンストレーション機能が ON になっている。
・ デモンストレーション機能を OFF にする。(→ P47)

MD/CD 部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。／音がとぶ。／音が歪む。／早送り／早戻しができない。

- 車内温度が 50℃ 以上ある。
・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
・ ディスクがひどく汚れている。
・ 録音状態が良くない。
・ 音楽用ディスクでない。
・ 本機対応のディスクでない。
・ 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
・ しばらく放置してから使う。
- ピックアップレンズが汚れている。(MD 部)
・ メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ) (→ P63)
・ 市販のレンズクリーナーは、使用できません。
- ピックアップレンズが汚れている。(CD 部)
・ メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ) (→ P63)
・ レンズクリーナーを使用する場合は、必ずアルパイン専用の「KAE-125C」(別売) を使用してください。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面／センターホールにバリがある。
・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RW が再生できない。

- クローズセッション (ファイナライズ処理) を行っていない。
・ クローズセッション (ファイナライズ処理) を行い、再度、試してみる。

MP3/WMA が演奏されない。

- 書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている
・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA について」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。(→ P64)
- 作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
・ 他のソフトで試してみる。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
・ アンテナを伸ばす。
・ パワーアンテナ / プラスターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
・ 周波数を正しく合わせる。(→ P26)
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。(→ P26)

メッセージが表れたら… (MD/CD 部)

NO DISC	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。
BLANK DISC	● ディスクに曲が入っていない。 (未録音ディスク) ・ ディスクに曲を録音してから使用する。
HIGH-TEMP	● 車内温度が高すぎる。 ・ 車内温度を常温まで下げる。
ERROR	● ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／音楽用ディスクでない。 ・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。 ● メカニズムエラー。 ・ ① 「▲」を押して、ディスクを取り出す。 イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。 ・ ② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。 ・ ③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
NO TEXT	● テキストが入力されていない。 ・ CD テキスト対応の CD と交換する。
NO TITLE	● タイトルが入力されていない。 ・ タイトルを入力する。 ● MD にタイトルが入っていない。

NO SUPPORT	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機（チェンジャー）で対応していない文字情報が入力されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機で対応している文字情報が入力されたディスクを使用する。（本機では、「漢字」／「ひらがな」などは、表示されない。）
NO DATA	<ul style="list-style-type: none"> ● MP3/WMA ファイルにタグ情報が入力されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ タグ情報が入力されているMP3/WMA ファイルを演奏する。
FULL DATA	<ul style="list-style-type: none"> ● メモリーがいっぱいのため、タイトル入力できない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不要なタイトルを消す。
PROTECT	<ul style="list-style-type: none"> ● コピープロテクト（著作権保護）されているWMA ファイルを演奏した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
UNSUPPORT	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機指定のMP3/WMA フォーマットで書き込みされていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら…（チェンジャー部（オプション））

NO MAGZINE	<ul style="list-style-type: none"> ● マガジンがCD チェンジャーにセットされていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ マガジンをCD チェンジャーにセットする。
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが入っていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクを入れる。
HIGH-TEMP	<ul style="list-style-type: none"> ● 車内温度が高すぎる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 車内温度を常温まで下げる。
ERROR-01	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクがマガジンに戻っていない。 <ul style="list-style-type: none"> ① 「▲」を押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。 ● メカニズムエラー。 <ul style="list-style-type: none"> ① 「▲」を押す。 ② 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③ それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。
ERROR-02	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクがマガジンに戻っていない。 <ul style="list-style-type: none"> ① 「▲」を押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。

メッセージが表れたら…（iPod® 部（オプション））

NO MAGZINE	<ul style="list-style-type: none"> ● iPod が接続されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ iPod が正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。 ● iPod バッテリーの残量が少ない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ iPod ユーザーズガイドを参照して、iPod を充電する。
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● iPod に曲（ファイル）が入っていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ iPod に曲（ファイル）を転送してから接続する。
NO SUPPORT	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で対応していない文字情報が入力されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機で対応している文字情報が入力された曲を再生する。（本機では、「漢字」／「ひらがな」などは、表示されない。）
ERROR-01	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信エラー。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一度イグニッションキーを「OFF」にしたから、もう一度「ACC」または「ON」にする。 ・ iPod と iPod 接続ケーブルを接続し直して表示を確認する。
ERROR-02	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で対応していない iPod ソフトウェア・バージョンである。 <ul style="list-style-type: none"> ・ KCA-420i の取扱説明書「本機対応の iPod™ について」を参照し、本機対応の iPod ソフトウェア・バージョンにアップデートする。

規格

チューナー部

受信周波数	AM ; 522~1,629kHz, FM ; 76.0~90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V, FM ; 0.8 μ V (75 Ω):9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 45dB以上
SN比	FM ; 80dB以上
周波数特性	FM ; 30~15,000Hz
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

MD 部

周波数特性	20Hz~20kHz(±0.5dB)
ダイナミックレンジ	90dB(1kHz)以上
SN比	105dB(1kHz)以上
ワウフラッター	測定限界以下

CD 部

方式	光学式(コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル(ステレオ)
周波数特性	5Hz~20kHz(±1dB)
ダイナミックレンジ	93dB(1kHz)以上
SN比	105dB(1kHz)以上
チャンネルセパレーション	86dB(1kHz)以上
ワウフラッター	測定限界以下

一般

使用電源	DC14.4V(動作範囲; 11~16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	50W×4
出力レベル	500mV/10k Ω
外形寸法	178(幅)×100(高さ)×160(奥行)mm
重量	2.0 kg

ドルビーラバトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

Windows Media™ および Windows® ロゴは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Apple, iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。

本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> にアクセスしてください。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買上げ店、または63ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口にて、修理を依頼してください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上げ店、または63ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
 <一般回線ご利用のお客様用>
 TEL:0570-006636
 ※全国どこからでも市内通話料金で
 ご利用頂けます。
 <携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>
 TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 土日祝日、
弊社休業日を除く 9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販売名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全県
東北エリア 仙台オフィス 郡山オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811 019-664-1210	〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小鶴字羽黒104-1 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	宮城県 / 山形県 / 秋田県 福島県 青森県 / 岩手県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-48-4772 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス 北陸オフィス	052-779-5655 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス 高松オフィス	086-243-8257 082-846-1175 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県 / 島根県 / 鳥取県 広島県 / 山口県 徳島県 / 香川県 / 愛媛県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号 ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川河原133の1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

索引

五十音順

あ 行

イコライザー特性	36、37
エンコード	64
お問い合わせ窓口	63
音量調整	11

か 行

各部の名称	8
規格	61
故障かな?と思ったら	60

さ 行

サブウーハー調整	11
サブウーハーの位相を切りかえる	12
サンプリングレート	19、64
シャッフル	52
スイッチ名称	8
スキャン(MD/CD)	16
スキャン(MP3/WMA)	20
スキャン (チェンジャー)	25
スクロール	30
セットアップ	44

た 行

タイトル	30
タイトルをつける	32
タイムコレクション	38、40、41
タグ	64
チェンジャー	22
ディスプレイ	9
デフォルト設定	11
テキスト	30、49
電源の ON/OFF	10
道路交通情報	29
時計を調整する	12
取り扱い上のご注意	3
取り付けと接続	56

は 行

バランス調整	11
ビットレート	19、64
フェダー調整	11
プレイリスト	50
保証について	62
本書の見方	5

ま 行

ミックス(iPod)	52
ミックス(MD/CD)	16
ミックス(MP3/WMA)	20
ミックス (チェンジャー)	25

や 行

用語説明	64
------------	----

ら 行

ラジオ	26
リセット	10
リピート(iPod)	52
リピート(MD/CD)	16
リピート(MP3/WMA)	20
リピート (チェンジャー)	25
ルートフォルダ	64

アルファベット

A to Z

A-MEMO	28、 55	SCAN(MD/CD)	16
AUX IN	46	SCAN(MP3/WMA)	20
B-FOCUS	42	SCAN (チェンジャー)	25
Bass Focus	42	SCROLL	45
BALANCE	11	SETUP	44
BEEP	45	SUBW. 11、 45	
CD	14	T-CORR	38、 40、 41
CONTRAST	46	TRF	29
DEFEAT	11	TUNER	26、 45
DEMO	47	TV	54
DIMMER	45	VOLUME	11
EQ	36、 37	WMA	18、 45
FADER	11		
HPF	35		
INT AUDIO	46		
INT MUTE	46		
iPod	48		
LPF	35		
MD	14		
MDLP	14		
M.I.X. (iPod)	52		
M.I.X. (MD/CD)	16		
M.I.X. (MP3/WMA)	20		
M.I.X. (チェンジャー)	25		
MP3	18、 45		
MP3/WMA について	64		
MX(Media Xpander)	34		
Playlist	50		
REPEAT(iPod)	52		
REPEAT(MD/CD)	16		
REPEAT(MP3/WMA)	20		
REPEAT (チェンジャー)	25		

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご愛用者 WEB アンケートにご協力ください

弊社ではお客様により満足いただける製品を目指して、お客様のご意見を伺うアンケートを実施しています。

お手数ですが、以下のインターネット ウェブサイト（弊社ホームページ内）にてご回答下さいますようお願い申し上げます。

尚、回答者の個人情報を弊社以外で利用することはございません。

<https://secure.alpine.co.jp/ps/>

質問事項すべてに回答して下さった方の中から抽選で粗品をお送り致します。
（なお、発表は発送をもってかえさせていただきます）

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。